

第8章 計画の推進に向けた今後の取り組み

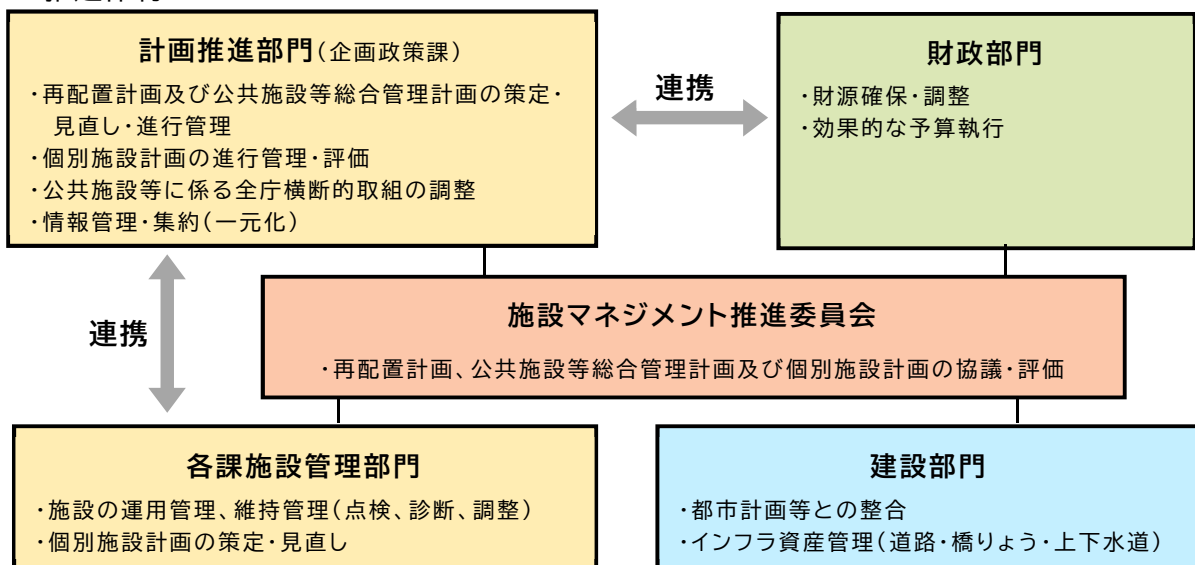
第1節 推進体制の構築

1 庁舎内組織横断的な推進体制の構築

計画の実効性を高めるためには、施策の進行管理や方針の改定、目標の見直し等が重要です。これを、総合的かつ計画的に管理していくため、部局横断的に行う組織(施設マネジメント推進委員会)を中心とした推進体制を構築します。

各所管課が所管する公共施設等の情報は、システム等による横断的かつ一元的な管理を行い、実践的な管理・運用を目指します。また、職員研修等を行い、公共施設を取り巻く現状と課題について認識を深めるとともに、職員の意識向上を図ります。

■推進体制



2 多様な主体との協力

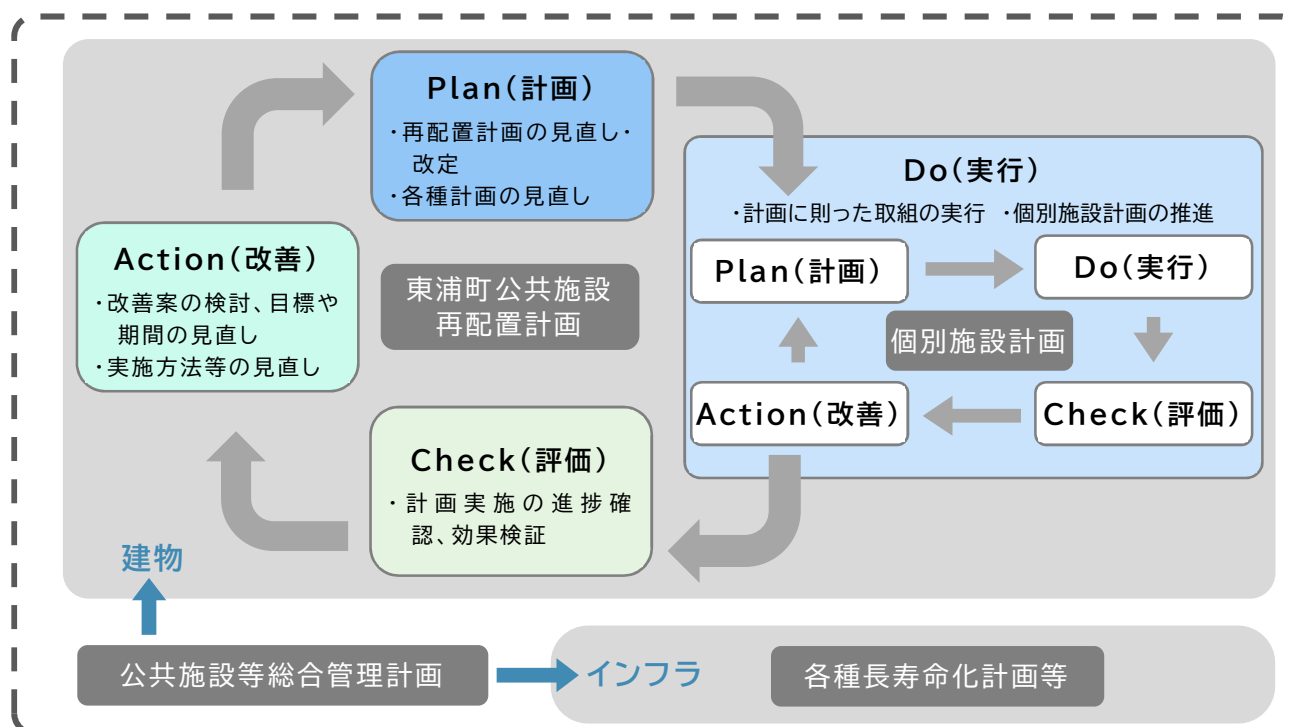
公共施設の再編は、行政だけでなく、町民や施設利用者、関係団体、町議会など多様な主体の理解と協力が不可欠です。必要な機能を保持しつつ、再編による効果を最大化できるよう、積極的な説明・対話を行います。特に、複合施設の具体的な計画を行う基本構想及び基本計画の段階では、実際の利用者となる町民の意見を積極的に取り入れる機会を設け、協働して施設整備を進めることにより、住民の合意形成を図ります。

第2節 進捗管理及び各計画との連携

1 PDCA サイクル

本計画は、公共施設等総合管理計画や個別施設計画と一体的に運用していきますが、社会情勢や施設を取り巻く環境の変化等に対応していく必要があることから、PDCA サイクルを構築し、進捗状況等について適宜、評価・検証を行います。PDCA サイクルは1年を目安に実施するほか、5年を目安に本計画の見直しを行います。

■PDCA サイクル



■進捗管理のスケジュール

東浦町 公共施設 再配置計画	年度	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034))
	PDCA	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
見直し						○					○		

2 施設マネジメントに係る各種計画との連携

(1) 公共施設等総合管理計画及び個別施設計画との一体的な運用

公共施設等総合管理計画や個別施設計画について、本計画で示す各施設の方向性を踏まえ、具体的な更新計画や、維持管理・更新等の取り組み方針を見直す必要があります。今後は、各施設の改修費用等を個別施設計画において検討し、財政計画等も踏まえつつ、本計画における再編ロードマップと合わせた費用の平準化を検討する等、一体的な運用を行います。

(2) 総合計画や都市計画マスタープラン等との連携

施設整備に際して、東浦町総合計画や東浦町立地適正化計画など、各種計画との整合・連携には配慮が必要です。維持管理・運営の状況や社会情勢等を踏まえ、施設の更新、複合化・集約化等を図る際には、都市計画等の各種計画との整合・連携に配慮します。

第3節 今後検討・推進すべき事項

今後検討・推進すべき事項は以下のとおりです。なお、推進・検討は、各施設の再編時期に限らず、着手可能な取組みから随時実施します。

1 公共サービスのあり方

(1) 民間事業者の活用(公共サービスの「ソフト化」)

施設管理費削減の手法として、公共サービスの「ソフト化」(町が施設を保有することなく、民間保有施設の利用や代替サービスの提供を行う形態)が効果的です。施設所有に係る財政負担(建設費、維持・更新費等)が増大する中、既存民間施設利用等の官民連携手法の導入により、従来の行政サービスの質と水準を維持したまま、コスト削減を図ることが可能です。

本町でも民間屋内プール施設での小学校水泳指導を行っており、今後は、保育園の民設民営等を検討します。

※ ソフト化とは:公共施設の保有とサービスの提供を分離し、町が施設を持たず、民間が保有する施設や代替サービスを活用してサービスを提供する形態のことで、原則として、主な公共施設全てにおいて「ソフト化」が可能であるとされています。(内閣府資料「政策課題分析シリーズ11 公共施設等改革による経済・財政効果について」より)

(2) 広域連携

公共施設整備は、単なる町の事業とするだけではなく、周辺自治体との相互利用を行う広域連携を見据えた計画とすることにより、施設の効率化及びコスト削減を目指します。本町では既に、知多半島5市5町の公共施設相互利用のほか、定住自立圏の形成に関する協定書(刈谷市・東浦町)や、図書館資料の相互利用実施協定(高浜市と締結)を結んで広域連携を行っています。また、愛知県有施設であるあいち健康の森の健康科学総合センター(あいち健康プラザ)や体育館、球技場等を活用していきます。

今後も更なる連携を図るため、国・県・近隣市町村や大学等の多様な主体と連携し、施設の相互利用や共同運用の検討を進めていきます。

(3) 地域移譲

地域のための公共機能を担う比較的小規模な施設は、地域移譲が考えられます。施設の管理運営の主体を、行政から地域の受け入れ団体に移譲することで、行政所有の公共施設の枠にとらわれない、より地域ニーズに即した施設運営が可能となります。

地域移譲の検討にあたっては、建物を有償譲渡するか無償譲渡するか等、受け入れ団体の負担に配慮した十分な調整を行います。

(4) DX 推進の検討

行政サービス水準の維持・向上の手法として、DX 化を推進します。

なお、本町では、社会情勢の変化等にデジタル技術を活用して対応し、時代のニーズに応える行政運営を実現していくという中長期的な展望のもと、DX を進めていくうえで大切にす
る視点や直近で取り組むべき重点取組事項とそれらに関する基本的な考え方等を示す「東浦
町 DX(デジタル・トランスフォーメーション)推進基本方針(令和4年10月)」に策定していま
す。

■DX 化の一例

○役場機能の DX 化

本計画に沿って、施設利用手続きにかかるオンライン化やキャッシュレス化、デジタルデ
バイド対策等の取り組みを進めていきます。

(5) 利用料金等の適正化や基金積立

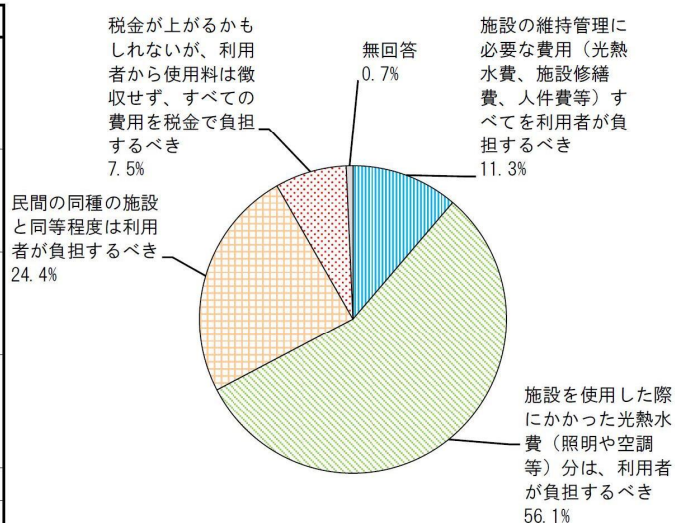
現状、光熱水費さえ賄っていない状況であることから、施設を利用する町民と利用しない
町民の公平性を保つためにも、施設を取り巻く状況の変化や利用者ニーズの変化に伴い、利
用料金等を見直さなければなりません。施設再編に伴う利用者増加による収入増加や、管理
運営費用の削減等だけでなく、受益者負担の観点から適切な利用料金等を設定します。

また、今後想定される多数の公共施設の建替に備え、世代間負担の公平性の観点から、公
共施設等整備基金や新庁舎建設基金等の計画的な積立を行っていきます。

■(参考)町民アンケート ※第3章第3節参照

問11 公共施設を利用する際の料金について、どれが最も適当だと考えますか。

選択肢	件数	比率
1. 施設の維持管理に必要な費用(光熱水費、施設修繕費、人件費等)すべてを利用者が負担すべき	112	11.3%
2. 施設を使用した際にかかった光熱水費(照明や空調等)分は、利用者が負担すべき	558	56.1%
3. 民間の同種の施設と同等程度は利用者が負担すべき	243	24.4%
4. 税金が上がるかもしれないが、利用者から使用料は徴収せず、すべての費用を税金で負担すべき	75	7.5%
無回答	7	0.7%
計	995	100.0%



2 官民連携手法の活用

(1) 整備や改修にかかる官民連携手法

施設の整備や改修にあたっては、PPP/PFI 等を積極的に活用するなど、民間事業者が有する創意工夫やノウハウ、民間資金の活力を活かした公共施設の整備や、整備・運営・維持管理の一括発注による効率的・効果的な施設の維持管理運営を推進していきます。なお、PPP/PFI の推進にあたっては、内閣府による「PPP/PFI 優先的検討規定」に基づき、町独自の官民連携手法導入に係る規定・指針を策定・運用することを検討します。

また、施設整備の際には、余剰空間の民間事業者等への貸付等による有効活用や、効果的な行政サービス提供のあり方や手法に関する民間提案を受ける等、民間ノウハウを活かす仕組みを検討します。

※ PPPとは:Public Private Partnership(パブリック・プライベート・パートナーシップ)の略で、行政と民間が協力して公共サービスを効率的に運営する手法のことで、官民パートナーシップ、官民連携とも呼ばれています。

※ PFIとは:Private Finance Initiative(プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)の略で、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法です。PFIは、PPPの代表的な手法の一つです。

事例:【富山市】PFIによる設計・施工・維持管理の

一括発注

富山県富山市では、小学校・地区公民館・児童保育施設等の複合施設の整備にあたり、PFI手法とすることで財政負担の平準化・事務負担軽減を図っています。

<一括発注内容>

- ・設計、各種申請、近隣対応等
- ・建設、工事監理、備品設置等
- ・建築物・設備保守、保安警備等



(2) その他官民連携手法

整備・改修と維持管理運営を別事業とする施設や、継続維持する施設についても、従来の運営のあり方を見直し、官民連携手法の導入を検討します。維持管理運営にかかる官民連携手法として、現行取り組んでいる中央図書館の指定管理をはじめとした指定管理者制度の積極的な推進のほか、コスト縮減とサービス向上を目的とした、民間主体の運営、包括施設管理等の導入が考えられます。

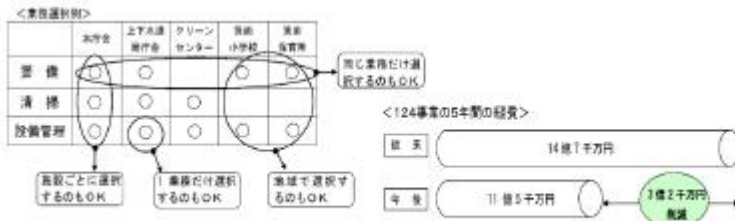
包括的民間委託発注のイメージ



資料：文教施設分野における包括的民間委託導入に向けた手引き，
 文教施設分野における多様な PPP/PFI 事業等に関する調査研究

事例：【箕面市】希望業務選択方式による包括的民間委託

大阪府箕面市では、警備や清掃等の 126 業務について事業者が業務の組み合わせを自由に選択することができる「希望業務選択方式」による入札を行い、その結果、地元事業者が複数参画する共同事業者が 124 業務を一括で落札し、大幅なコストダウンを実現しました。



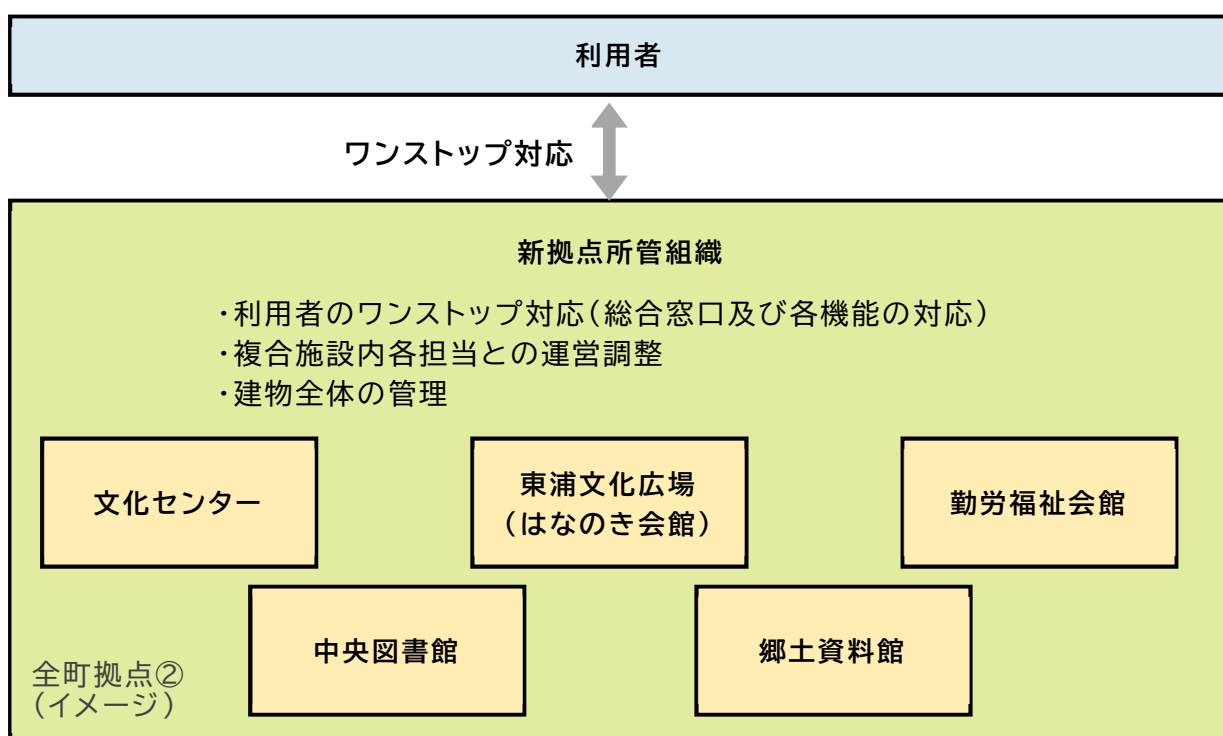
* 契約期間は、平成 24 年 10 月 1 日から平成 29 年 9 月 30 日の 5 年間

3 複合拠点施設の整備等に向けた留意事項

(1) 複合拠点施設を効果的に整備・運用するための組織横断体制の構築

複合による効果を高めるためには、これまで個別にあった施設間で連携することにより、機能そのものを複合していく必要があります。複合拠点の効果的な管理運営を行うため、従来の縦割り組織が連携するに留まらず、組織改編により新拠点所管組織を設立します。施設整備の計画段階から新拠点所管組織が事業を進め、供用開始後には、複合施設内に各機能に対応したワンストップ窓口となることで、利用者の利便性向上や事業連携による魅力向上、管理運営の効率化等を図ります。

■複合施設における組織横断体制(全町拠点②におけるイメージ)



(2) 地区特性を踏まえた拠点整備

地域拠点では、各地区の特性に合わせた検討を行い、特色ある拠点づくりを目指します。また、小学校を核としたの拠点整備として、緒川小学校をはじめとしたオープンスクールの効果検証や、教育に関するニーズや社会的潮流を踏まえ、今後あるべき教育体制の検討を行います。

事例：緒川小学校

オープンスペースによって学びを広げてきた本校では、次の6点を意識して取り組んできた。このことによって、主体的で創造的な学びを可能にし、子どもたちの自らの学びを育んできた。

- 1) 多様な指導形態・学習形態を組むことができる。
 - ・学年合同の指導・学習形態・無学年制による指導・学習形態
 - ・一人学び
- 2) 自由な学習空間・学習時間を確保することができる。
 - ・空間により自学学習や探求学習、問題解決学習の場が確保
 - ・連続した学習活動
- 3) 自己学習力を育成する学習の場が確保できる。
 - ・学習材を設置(活用)するスペースの確保
- 4) 豊かな学習環境を構成することができる。
 - ・学習への動機づけ・意欲づけ・継続化
 - ・道徳的・学問的・美的に構成
- 5) 楽しい生活の場とすることができる。
 - ・より豊かな学校生活
 - ・生活の場として意識
- 6) その他(地域に開かれた場とすることができる。)
 - ・地域の方とともに活動する場
 - ・地域の方の活動する場の確保 など

(自ら学ぶ子 個性化教育 緒川小学校の教育, 愛知県知多郡東浦町立緒川小学校)

(3) 災害対応

施設整備に際しては災害に対する配慮が求められ、特に災害ハザードが見込まれるエリアへの施設整備は、十分な検証と対策が求められます。災害時の対応として、各施設を災害時に利用することができる防災拠点とするために、建物を耐災害施設として整備するだけでなく、アクセス性等を考慮した敷地外を含めた検討を行います。なお、災害を含む緊急時だけでなく、平時における効率性や利便性の検討も必要であり、平時と緊急時の両面で検討します。

(4) 機能複合による利用者の安全性等への配慮

複合施設では、異なる目的を持った様々な属性の利用者が、同一施設を利用することになるため、利用環境の変化が予想されます。特に、学校教育施設や福祉施設では、防犯面での安全性や、児童生徒・利用者の快適性の確保に留意する必要があります。安全性や快適性等の確保のため他利用者との干渉を避けつつも、交流や連携等の複合施設の利点を活かせるよう、建築での工夫や仕組みづくりが必要です。

(5) アクセシビリティへの配慮

施設の再編により、分散していた機能が集約することにより利用者の利便性が向上することが予想されますが、一方で、施設配置に偏りが発生することとなり、拠点から離れたエリアではアクセシビリティが懸念されます。そのため、拠点を中心とした公共交通網を再構築するほか、MaaS・IT の活用や、住民・企業による移動手段提供により、交通網を強化する必要があります。また、これまで分散していた公共施設利用者が拠点に集中することから、周辺渋滞や駐車場にも配慮する必要があり、周辺環境を含めた施設整備を検討します。

※MaaS(マース:Mobility as a Service)とは

ICT技術の発展に伴い、バスや鉄道、タクシー、シェアサイクルなどあらゆる公共交通機関をICTにてシームレスに結びつけ、最適に組み合わせ検索・予約・決済を一括で行うサービス。



出典：国土交通省(日本版 MaaS の推進)

4 使われなくなる施設・土地の活用

(1) 事業手法

今後、再編等により使われなくなる施設及び土地については、当該施設の再整備検討段階から、利活用の可能性を検討します。空き施設や跡地利用に関しては、町民の生活向上、町の財政負担軽減につながるよう、公共・民間問わず様々な活用可能性を幅広く検討する必要があります。

民間事業者のノウハウ活用の方法として、民間提案制度等の導入が考えられ、現在設置している公有地活用の民間提案窓口と連携し、取り組みを進めます。

不要施設及び土地の利活用が見込めない場合は、用途廃止後、即座に除却または売却します。これにより、民間によるサービス提供によって町民の生活向上が見込めるほか、企業誘致による税収増や雇用の確保が期待できます。また、売却益等の有効活用策として、基金に積み立てて今後の公共施設等の改修や更新等の財源とすること等を検討します。

事例：【福井市】民間提案制度による市有地活用

福井県福井市では、民間提案制度により低・未利用の公共空間（財産）の提案事業者を募集している。
令和2年度には、海洋生物専門店による旧公民館を活用した海洋生物展示体験施設の提案が採用されている。



(2) 補助金等の返還

公共施設の中には、補助金等を受けて整備された施設や設備があり、これらを譲渡または売却する財産処分を行う場合は、交付された補助金の種類や処分の内容により、補助金の返還等の条件を付されることがあります。条件を緩和するため、財産処分の要件を事前に整理した上で、譲渡・売却のタイミングや内容を検討します。

(3) 借地の解消

現在、町所有の公共施設には、借地に立地する施設が多数あります。借地料は年間4,400万円以上に昇り、財政圧迫の原因の一つとなっていることから、施設の再編にあたり、借地の解消を目指します。

■対象施設に係る2022年度の借地料

	用途	面積(㎡)	2022年度借地料(円)
1	東浦町役場(職員駐車場)	4,582.28	1,753,921
2	藤江分団詰所	236.65	185,090
3	緒川新田老人憩の家(駐車場)	940.00	678,125
4	藤江老人憩の家(駐車場)	1,115.00	439,925
5	森岡保育園	3,306.00	2,929,507
6	森岡西保育園(駐車場)	226.62	507,492
7	藤江保育園	3,128.12	1,103,987
8	石浜児童館(駐車場)	481.00	460,257
9	藤江児童館	1,235.50	436,036
10	石浜西保育園	3,381.99	0
11	勤労福祉会館(駐車場)	1,488.40	2,029,101
12	藤江小学校	11,690.64	4,125,908
13	生路小学校	2,000.00	1,123,299
14	生路小学校(駐車場)	597.00	238,325
15	緒川小学校	22,624.00	15,735,267
16	藤江公民館	991.95	775,844
17	石浜コミュニティセンター	1,590.95	1,222,538
18	石浜コミュニティセンター(駐車場)	219.47	306,885
19	卯ノ里コミュニティセンター(駐車場)	1,127.00	509,682
20	中央図書館(駐車場)	486.00	1,110,147
21	東浦町体育館(駐車場)	5,587.47	7,132,047
22	藤江コミュニティセンター	3,966.87	1,399,936
	合計	71,002.91	44,203,319

参考資料 公共施設評価

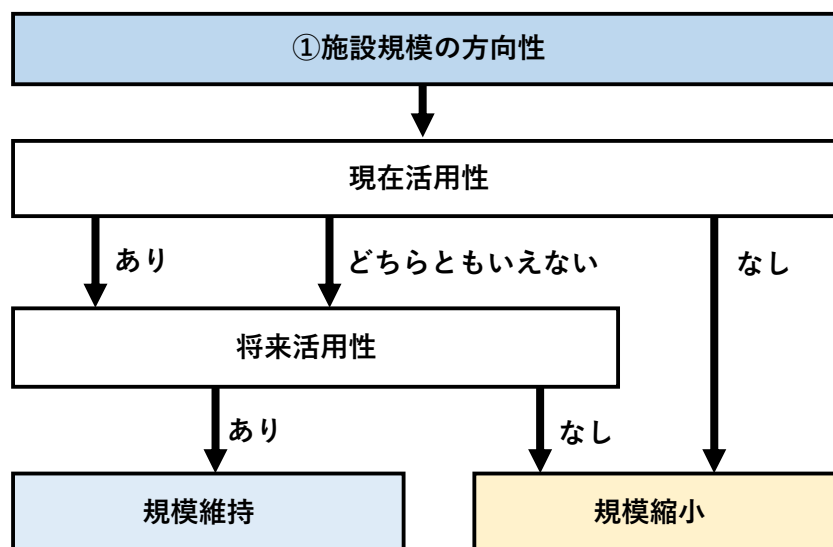
第1節 施設規模の方向性検討

1 評価方法

施設規模の方向性検討に当たっては、以下の評価フローに基づき実施します。

活用性の指標を用いて公共施設の規模維持または規模縮小を評価し、施設ごとの特筆事項を踏まえ、施設規模の方向性を設定します。

【評価フロー】



【評価指標の考え方】

評価指標		考え方	出典
現在 活用性	年間 利用者数 の増減	新型コロナウイルス発生前(2017年→2018年)と、発生後:(2020年→2021年)の年間利用者数の増減より、現在活用性を判定します。	施設管理者ヒアリング 2017,2018,2020,2021年の 年間利用者数より判定
将来 活用性	将来的な 活用性	将来的な活用性を施設管理者へヒアリングすることにより判定します。	施設管理者ヒアリング 現在と同等・現在以上見込める、現在よりは縮小する、どちらともいえないより選択
	将来人口 推計	主な利用対象者となる地域や年齢層を踏まえ、将来人口推計の増減より判定します。全施設の推計値平均以上の場合は活用性あり、少ない場合はなしと判定します。	将来人口推計(地区別、年齢(5歳階級)別) 2022年→2037年の2時点より判定

【評価指標の判定基準】

評価指標		判定基準	
現在 活用性	年間 利用者数 の増減	コロナ前→増加 コロナ後→増加	あり
		コロナ前→増加、コロナ後→減少 または コロナ前→減少、コロナ後→増加	どちらとも いえない
		コロナ前→減少 コロナ後→減少	なし
将来 活用性	将来的な 活用性	将来的な活用性→現状と同等、現在以上見込める 将来人口推計→全施設増減率平均より高い どちらかあり	あり
	将来人口 推計	将来的な活用性→現状と同等、現在以上見込める 将来人口推計→全施設増減率平均より高い 両方なし	なし

2 評価結果

凡例 施設名・・・森岡地区に位置する施設、施設名・・・緒川地区、施設名・・・緒川新田地区、施設名・・・石浜地区、施設名・・・生路地区、施設名・・・藤江地区

施設別 No.	施設名	延床面積 (㎡)	①施設規模の方向性																	特筆事項	最終判定							
			現在活用性											将来活用性														
			年間利用者数等							増減率				判定	将来的な活用性が見込めるか【ヒア】	主な利用対象者	地区	将来人口推計										
			H29【ヒア】	H30【ヒア】	H31/R1【ヒア】	R2【ヒア】	R3【ヒア】	単位【ヒア】	入力項目【ヒア】	増減率 H29→H30	コロナ前増減	増減率 R2→R3	コロナ後増減					R4(2022)	R19(2037)			増減率	区分	全施設増減率平均比較	判定	判定		
1	役場	5,662.82	不明	不明	不明	不明	不明	人								どちらともいえない	現在と同等、現在以上見込める	全市民	全町	50,306	48,278	-4.0%	合計	↑	あり	規模維持	行政運営の拠点であり、災害等危機管理の司令塔である。	規模維持
11	総合ボランティアセンター	146.64	7,576	7,600	6,898	2,957	4,624	人	来館者数	0.3%	↑	56.4%	↑	あり	現在と同等、現在以上見込める	全市民	全町	50,306	48,278	-4.0%	合計	↑	あり	規模維持	ボランティア・町民活動を支えている。	規模維持		
27	子育て支援センター	1,204.07	39,959	39,867	36,114	18,965	15,469	人	つといの広場事業の延べ利用人数	-0.2%	↓	-18.4%	↓	なし	現在よりは縮小する	子育て世代(全町民)	全町	6,748	5,382	-20.2%	年少	↓	なし	規模縮小	人口減少に伴い子供の数は減少見込みだが、核家族化の進展や共働き世帯の増加等により需要が増える可能性がある。	規模維持		
28	なかよし学園	323.54	5,964	6,041	5,178	4,107	4,250	人	延べ利用人数	1.3%	↑	3.5%	↑	あり	現在よりは縮小する	全市民	全町	6,748	5,382	-20.2%	年少	↓	なし	規模縮小	人口減少に伴い子供の数は減少見込みだが、核家族化の進展や共働き世帯の増加等により需要が増える可能性がある。	規模維持		
29	文化センター	1,993.50	62,220	61,995	51,617	21,193	0	人	利用者数	-0.4%	↓	-100.0%	↓	なし	どちらともいえない	全市民	全町	50,306	48,278	-4.0%	合計	↑	あり	規模維持	貸館機能の役割分担が分かりづらい。サークル活動等での貸館利用は地区コミュニティセンターやあい健康の森交流センターも利用されている。コロナ前の利用者数(図書館、東浦文化広場体育館)に次いで3番目に多い。令和2年度以降はコロナワクチンの接種会場として利用されている。	規模維持		
36	郷土資料館	999.72	25,235	24,354	24,133	14,974	19,994	人	入館者数	-3.5%	↓	33.5%	↑	どちらともいえない	現在よりは縮小する	全市民	全町	50,306	48,278	-4.0%	合計	↑	あり	規模維持	各種講座等で利用されている。町民アンケートでは今まで1度も利用したことのない人が約6割。	規模維持		
37	中央図書館	2,634.73	157,651	140,965	125,717	78,428	95,284	人	来館者数	-10.6%	↓	21.5%	↑	どちらともいえない	どちらともいえない	全市民	全町	50,306	48,278	-4.0%	合計	↑	あり	規模維持	町内公共施設のうち利用者数が最も多い。	規模維持		
38	福祉センター ※学習・交流	1,186.98	3,704	3,275	2,792	1,573	1,418	人	利用者数	-11.6%	↓	-9.9%	↓	なし	現在と同等、現在以上見込める	高齢者(全町)	全町	12,949	14,491	11.9%	老年	↑	あり	規模縮小	福祉団体等を中心とする学習・交流活動を支えている。	規模維持		
38	福祉センター ※福祉	1,186.98	4,245	6,163	5,845	3,108	3,019	人	利用者数	45.2%	↑	-2.9%	↓	どちらともいえない	現在と同等、現在以上見込める	高齢者(全町)	全町	12,949	14,491	11.9%	老年	↑	あり	規模維持	福祉活動を支えている。	規模維持		
48	高齢者相談支援センター	115.20	1,848	2,460	2,410	2,752	1,972	人	相談者実人数	33.1%	↑	-28.3%	↓	どちらともいえない	現在と同等、現在以上見込める	高齢者(全町)	全町	2,971	3,337	12.3%	老年	↑	あり	規模維持	高齢者の生活を支援している。	規模維持		
49	保健センター	1,040.31	22,975	23,685	25,099	15,654	15,691	人	来館者数	3.1%	↑	0.2%	↑	あり	どちらともいえない	全市民	全町	50,306	48,278	-4.0%	合計	↑	あり	規模維持	保健相談や検診等、町民生活に必須のサービスを提供している。	規模維持		
50	勤労福祉会館 ※学習・交流	2,579.29	55,188	41,948	32,093	11,070	14,059	人	利用者数	-24.0%	↓	27.0%	↑	どちらともいえない	現在と同等、現在以上見込める	全市民	全町	12,949	14,491	11.9%	老年	↑	あり	規模維持	貸館機能の役割分担が分かりづらい。町民アンケートでは今まで1度も利用したことのない人が約5割。	規模維持		
50	勤労福祉会館 ※行政	2,579.29	55,188	41,948	32,093	11,070	14,059	人	利用者数	-24.0%	↓	27.0%	↑	どちらともいえない	現在と同等、現在以上見込める	全市民	全町	12,949	14,491	11.9%	老年	↑	あり	規模維持	商工業の支援(商工会への場所貸、商工振興課の入居)が必要である。	規模維持		
51	東浦文化広場(体育館)	2,871.99	75,904	70,315	65,654	46,734	47,050	人	利用者数	-7.4%	↓	0.7%	↑	どちらともいえない	現在と同等、現在以上見込める	全市民	全町	50,306	48,278	-4.0%	合計	↑	あり	規模維持	町民アンケートでは今まで1度も利用したことのない人が約5割。コロナ前の利用者数は図書館に次いで2番目に多い。	規模維持		
52	東浦文化広場(はなのき会館)	453.03	5,921	7,143	6,445	1,924	2,171	人	利用者数	20.6%	↑	12.8%	↑	あり	現在と同等、現在以上見込める	全市民	全町	50,306	48,278	-4.0%	合計	↑	あり	規模維持	町民アンケートでは今まで1度も利用したことのない人が約5割。未来会議で調理場は不要との意見がある。	規模縮小		
56	町営藤江住宅	167.84	4	5	4	4	4	人	入居者数	25.0%	↑	0.0%	↑	あり	現在よりは縮小する	入居者(その他)	全町	50,306	48,278	-4.0%	合計	↑	あり	規模維持	民間借家や県営住宅でも代替可能。	規模縮小		
57	町営半ノ木住宅	840.03	20	22	20	21	22	人	入居者数	10.0%	↑	4.8%	↑	あり	現在よりは縮小する	入居者(その他)	全町	50,306	48,278	-4.0%	合計	↑	あり	規模維持	民間借家や県営住宅でも代替可能。	規模縮小		
68	学校給食センター	3,475.21	857,851	847,070	779,367	801,550	846,651	食	実施延食数	-1.3%	↓	5.6%	↑	どちらともいえない	どちらともいえない	児童・生徒	全町	6,748	5,382	-20.2%	年少	↓	なし	規模縮小	今後15年で年少人口は20%減少の見込み。提供食数が減っても必要規模は変わらない。	規模維持		
2	森岡分団詰所	99.94	0	0	0	0	0	人	利用者数					どちらともいえない	現在と同等、現在以上見込める	消防団員(地区)	森岡地区	8,095	8,042	-0.7%	合計	↑	あり	規模維持	災害への備えとして必要である。他施設での代替は難しい。	規模維持		
12	森岡保育園	617.49	66	67	52	48	49	人	園児数	1.5%	↑	2.1%	↑	あり	現在よりは縮小する	園児(地区)	森岡地区	1,131	1,035	-8.5%	年少	↓	なし	規模縮小	今後15年で森岡小学校区の年少人口は8.5%減少の見込み。共働き世帯の増加等により需要が増加する可能性がある。	規模維持		
13	森岡西保育園	1,337.30	146	148	151	172	157	人	園児数	1.4%	↑	-8.7%	↓	どちらともいえない	現在よりは縮小する	園児(地区)	森岡地区	1,131	1,035	-8.5%	年少	↓	なし	規模縮小	今後15年で森岡小学校区の年少人口は8.5%減少の見込み。他地区は保育園が1施設づつ立地する中で、森岡地区、石浜地区のみ保育園が2施設立地している。	規模縮小		
20	森岡児童館	329.02	17,358	18,667	16,626	13,854	15,870	人	延べ利用人数(児童館一般利用+児童クラブ)	7.5%	↑	14.6%	↑	あり	現在よりは縮小する	児童(地区)	森岡地区	1,131	1,035	-8.5%	年少	↓	なし	規模縮小	今後15年で森岡小学校区の年少人口は8.5%減少の見込み。共働き世帯の増加等により需要が増加する可能性がある。	規模維持		
30	森岡コミュニティセンター	788.07	23,740	25,097	21,035	7,768	8,795	人	利用者数	5.7%	↑	13.2%	↑	あり	どちらともいえない	地区住民	森岡地区	8,095	8,042	-0.7%	合計	↑	あり	規模維持	地域コミュニティ活動を支えている。地区別ヒアリングで、ホールが狭い、EVがなく2階を利用しづらいとの意見があった。	規模維持		
40	森岡老人憩の家	171.69	3,761	3,686	3,370	1,373	1,607	人	利用者数	-2.0%	↓	17.0%	↑	どちらともいえない	どちらともいえない	高齢者(地区)	森岡地区	2,278	2,264	-0.6%	老年	↑	あり	規模維持	町民アンケートでは、今まで一度も利用したことのない割合が、全体では約9割、60歳代以上では約8.4割。利用対象を全年齢に拡大したものの、老人クラブ以外の利用は増えていない。高齢者人口が増加しているが老人クラブ会員は減少。	規模縮小		
53	北部ふれあいセンター ※学習・交流	721.38	2,376	1,424	1,337	287	246	人	利用者数	-40.1%	↓	-14.3%	↓	なし	現在と同等、現在以上見込める	地区住民	森岡地区	8,095	8,042	-0.7%	合計	↑	あり	規模縮小	スポーツ協会等団体の会議や、スポーツ推進委員の会議、大会時にはスポーツ団体が利用している。	規模縮小		
53	北部ふれあいセンター ※運動	721.38	29,309	29,256	27,075	14,415	18,688	人	利用者数	-0.2%	↓	29.6%	↑	どちらともいえない	現在と同等、現在以上見込める	地区住民	森岡地区	8,095	8,042	-0.7%	合計	↑	あり	規模維持	地域のスポーツ機会を提供している。	規模維持		
58	森岡小学校	6,837.50	414	414	419	416	436	人	児童数	0.0%	↑	4.8%	↑	あり	現在よりは縮小する	児童(学区)	森岡地区	1,131	1,035	-8.5%	年少	↓	なし	規模縮小	今後15年で森岡小学校区の年少人口は8.5%減少の見込み。35人学級への対応のため、必要規模が同等または拡大する可能性がある。	規模縮小		
3	緒川分団詰所	117.69	0	0	0	0	0	人	利用者数					どちらともいえない	現在と同等、現在以上見込める	消防団員(地区)	緒川地区	8,904	8,474	-4.8%	合計	↑	あり	規模維持	災害への備えとして必要である。他施設での代替は難しい。	規模維持		
8	北部防災倉庫	269.78	0	0	0	0	0	人	利用者数					どちらともいえない	現在と同等、現在以上見込める	地区住民	緒川地区	8,904	8,474	-4.8%	合計	↑	あり	規模維持	災害への備えとして必要である。	規模維持		
10	役場東防災倉庫	184.69	0	0	0	0	0	人	利用者数					どちらともいえない	現在と同等、現在以上見込める	地区住民	緒川地区	8,904	8,474	-4.8%	合計	↑	あり	規模維持	災害への備えとして必要である。	規模維持		
14	緒川保育園	1,790.07	262	271	260	289	283	人	園児数	3.4%	↑	-2.1%	↓	どちらともいえない	現在よりは縮小する	園児(地区)	緒川地区	1,202	937	-22.0%	年少	↓	なし	規模縮小	今後15年で緒川小学校区の年少人口は22%減少の見込み。共働き世帯の増加等により需要が増加する可能性がある。	規模維持		
21	緒川児童館	618.33	19,891	19,280	16,840	11,707	13,669	人	延べ利用人数(児童館一般利用+児童クラブ)	-3.1%	↓	16.8%	↑	どちらともいえない	現在よりは縮小する	児童(地区)	緒川地区	1,202	937	-22.0%	年少	↓	なし	規模縮小	今後15年で緒川小学校区の年少人口は22%減少の見込み。共働き世帯の増加等により需要が増加する可能性がある。	規模維持		
31	緒川コミュニティセンター	933.54	31,024	30,939	24,298	9,415	19,234	人	利用者数	-0.3%	↓	104.3%	↑	どちらともいえない	どちらともいえない	地区住民	緒川地区	8,904	8,474	-4.8%	合計	↑	あり	規模維持	地域コミュニティ活動を支えている。地区別ヒアリングで、調理室の利用が少ないとの意見があった。	規模維持		
41	緒川老人憩の家	274.59	8,216	8,814	8,126	2,651	3,775	人	利用者数	7.3%	↑	42.4%	↑	あり	どちらともいえない	高齢者(地区)	緒川地区	2,300	2,426	5.5%	老年	↑	あり	規模維持	町民アンケートでは、今まで一度も利用したことのない割合が、全体では約9割、60歳代以上では約8.4割。利用対象を全年齢に拡大したものの、老人クラブ以外の利用は増えていない。高齢者人口が増加しているが老人クラブ会員は減少。	規模縮小		
43	相生老人憩の家	134.37	1,122	1,208	907	313	715	人	利用者数	7.7%	↑	128.4%	↑	あり	どちらともいえない	高齢者(地区)	緒川地区	2,300	2,426	5.5%	老年	↑	あり	規模維持	町民アンケートでは、今まで一度も利用したことのない割合が、全体では約9割、60歳代以上では約8.4割。利用対象を全年齢に拡大したものの、老人クラブ以外の利用は増えていない。	規模縮小		
59	緒川小学校	8,860.00	532	524	557	526	526	人	児童数	-1.5%	↓	0.0%	↑	どちらともいえない	現在よりは縮小する	児童(学区)	緒川地区	1,202	937	-22.0%	年少	↓	なし	規模縮小	今後15年で緒川小学校区の年少人口は22%減少の見込み。35人学級への対応のため、必要規模が同等または拡大する可能性がある。	規模縮小		
66	北部中学校	11,982.00	475	504	487	481	464	人	生徒数	6.1%	↑	-3.5%	↓	どちらともいえない	現在よりは縮小する	生徒(学区)	森岡・緒川地区	2,333	1,972	-15.5%	年少	↓	なし	規模縮小	今後15年で北部中学校区の年少人口は15%減少の見込み。	規模縮小		

施設別 No.	施設名	延床面積 (㎡)	①施設規模の方向性													特筆事項	最終判定									
			現在活用性										将来活用性													
			年間利用者数等										将来人口推計													
H29 【ヒア】	H30 【ヒア】	H31/R1 【ヒア】	R2 【ヒア】	R3 【ヒア】	単位 【ヒア】	入力項目 【ヒア】	増減率 H29→ H30	コロナ前 増減	増減率 R2→R3	コロナ後 増減	判定	将来的な活用性が見 込められるか 【ヒア】	主な利用対象者	地区	R4 (2022)	R19 (2037)	増減率	区分	全施設 増減率 平均比較	判定	判定					
4	緒川新田分団詰所	101.93	0	0	0	0	0	人	利用者数					どちらともい えない	現在と同等、現在以上 見込める	消防団員(地区)	緒川新田地区	7,605	6,798	-10.6%	合計	↓	あり	規模維持	災害への備えとして必要である。他施設での代替は難しい。	規模維持
9	西部防災倉庫	268.74	0	0	0	0	0	人	利用者数					どちらともい えない	現在と同等、現在以上 見込める	地区住民	緒川新田地区	7,605	6,798	-10.6%	合計	↓	あり	規模維持	災害への備えとして必要である。	規模維持
15	緒川新田保育園	1,266.10	137	142	138	137	134	人	園児数	3.6%	↑	-2.2%	↓	どちらともい えない	現在よりは縮小する	園児(地区)	緒川新田地区	793	644	-18.8%	年少	↓	なし	規模縮小	今後15年で卯ノ里小学校区の年少人口は19%減少する見込み。共働き世帯の増加等により需要が増加する可能性がある。	規模維持
22	緒川新田児童館	458.68	14,762	13,540	13,700	11,936	13,708	人	延べ利用人数(児童館一般利用+児童クラブ)	-8.3%	↓	14.8%	↑	どちらともい えない	現在よりは縮小する	児童(地区)	緒川新田地区	793	644	-18.8%	年少	↓	なし	規模縮小	今後15年で卯ノ里小学校区の年少人口は19%減少する見込み。共働き世帯の増加等により需要が増加する可能性がある。	規模維持
32	卯ノ里コミュニティセンター	740.40	19,618	20,577	17,096	7,445	8,410	人	利用者数	4.9%	↑	13.0%	↑	あり	どちらともい えない	地区住民	緒川新田地区	7,605	6,798	-10.6%	合計	↓	なし	規模縮小	地域コミュニティ活動を支援している。地区別ヒアリングで、2階和室及び調理室の利用が少ないとの意見があった。阿久比町児童福祉センターも利用されている。	規模維持
42	緒川新田老人憩の家	358.22	4,772	4,493	4,151	1,288	2,508	人	利用者数	-5.8%	↓	94.7%	↑	どちらともい えない	どちらともい えない	高齢者(地区)	緒川新田地区	2,545	2,633	3.5%	老年	↑	あり	規模維持	地域コミュニティ活動を支援している。地区別ヒアリングで、2階和室及び調理室の利用が少ないとの意見があった。阿久比町児童福祉センターも利用されている。	規模縮小
47	東ヶ丘交流館	136.64	4,978	5,539	5,029	840	1,946	人	利用者数	11.3%	↑	131.7%	↑	あり	どちらともい えない	高齢者(地区)	緒川新田地区	2,545	2,633	3.5%	老年	↑	あり	規模維持	多世代間の交流が行われている。主な利用者は高齢者であるが、老人憩の家と比較して多世代交流が出来る。	規模縮小
54	西部ふれあいセンター ※学習・交流	713.03	4,502	4,046	3,122	188	621	人	利用者数	-10.1%	↓	230.3%	↑	どちらともい えない	現在と同等、現在以上 見込める	地区住民	緒川新田地区	7,605	6,798	-10.6%	合計	↓	あり	規模維持	スポーツ協会等団体の会議や、スポーツ推進委員の会議、大会時にはスポーツ団体が利用している。	規模縮小
54	西部ふれあいセンター ※運動	713.03	17,629	22,406	22,999	13,291	14,698	人	利用者数	27.1%	↑	10.6%	↑	あり	現在と同等、現在以上 見込める	地区住民	緒川新田地区	7,605	6,798	-10.6%	合計	↓	あり	規模維持	地域のスポーツ機会を提供している。	規模維持
60	卯ノ里小学校	9,275.00	340	324	308	306	300	人	児童数	-4.7%	↓	-2.0%	↓	なし	現在よりは縮小する	児童(学区)	緒川新田地区	793	644	-18.8%	年少	↓	なし	規模縮小	今後15年で卯ノ里小学校区の年少人口は19%減少する見込み。35人学級への対応のため、必要規模が同等または拡大する可能性がある。	規模縮小
67	西部中学校	8,476.00	206	181	175	172	170	人	生徒数	-12.1%	↓	-1.2%	↓	なし	現在よりは縮小する	生徒(学区)	緒川新田地区	793	644	-18.8%	年少	↓	なし	規模縮小	今後15年で西部中学校区の年少人口は19%減少する見込み。	規模縮小
5	石浜分団詰所	103.24	0	0	0	0	0	人	利用者数					どちらともい えない	現在と同等、現在以上 見込める	消防団員(地区)	石浜地区	12,904	12,585	-2.5%	合計	↑	あり	規模維持	災害への備えとして必要である。他施設での代替は難しい。	規模維持
16	石浜保育園	1,768.49	229	226	225	211	210	人	園児数	-1.3%	↓	-0.5%	↓	なし	現在よりは縮小する	園児(地区)	石浜地区	1,981	1,444	-27.1%	年少	↓	なし	規模縮小	今後15年で片徳小学校区及び石浜西小学校の年少人口は27%減少する見込み。共働き世帯の増加等により需要が増加する可能性がある。	規模維持
17	石浜西保育園	1,770.36	239	236	233	221	219	人	園児数	-1.3%	↓	-0.9%	↓	なし	現在よりは縮小する	園児(地区)	石浜地区	1,981	1,444	-27.1%	年少	↓	なし	規模縮小	今後15年で片徳小学校区及び石浜西小学校の年少人口は27%減少する見込み。他地区は保育園が1施設つ立地する中で、森岡地区、石浜地区のみ保育園が2施設立地している。	規模縮小
23	石浜児童館	544.70	22,063	21,542	22,045	20,541	29,645	人	延べ利用人数(児童館一般利用+児童クラブ)	-2.4%	↓	44.3%	↑	どちらともい えない	現在よりは縮小する	児童(地区)	石浜地区	1,981	1,444	-27.1%	年少	↓	なし	規模縮小	今後15年で片徳小学校区及び石浜西小学校の年少人口は27%減少する見込み。共働き世帯の増加等により需要が増加する可能性がある。	規模維持
24	石浜西児童館	345.00	18,980	23,055	23,096	13,160	15,080	人	延べ利用人数(児童館一般利用+児童クラブ)	21.5%	↑	14.6%	↑	あり	現在よりは縮小する	児童(地区)	石浜地区	1,981	1,444	-27.1%	年少	↓	なし	規模縮小	今後15年で片徳小学校区及び石浜西小学校の年少人口は27%減少する見込み。共働き世帯の増加等により需要が増加する可能性がある。	規模維持
33	石浜コミュニティセンター	535.91	15,183	13,451	14,939	6,479	10,407	人	利用者数	-11.4%	↓	60.6%	↑	どちらともい えない	どちらともい えない	地区住民	石浜地区	12,904	12,585	-2.5%	合計	↑	あり	規模維持	地域コミュニティ活動を支援している。地区別ヒアリングで、EVがなく2階を利用しないとの意見があった。	規模維持
44	石浜老人憩の家	588.74	7,572	8,063	4,465	2,644	3,690	人	利用者数	6.5%	↑	39.6%	↑	あり	どちらともい えない	高齢者(地区)	石浜地区	2,971	3,337	12.3%	老年	↑	あり	規模維持	町民アンケートでは、今まで一度も利用したことが無い割合が、全体では約9割、60歳代以上では約8.4割。利用対象を全年齢に拡大したものの、老人クラブ以外の利用は増えていない。高齢者人口が増加しているが老人クラブ会員は減少。	規模縮小
61	片徳小学校	8,117.58	527	504	482	461	445	人	児童数	-4.4%	↓	-3.5%	↓	なし	現在よりは縮小する	児童(学区)	石浜地区	1,981	1,444	-27.1%	年少	↓	なし	規模縮小	今後15年で片徳小学校区及び石浜西小学校の年少人口は27%減少する見込み。35人学級への対応のため、必要規模が同等または拡大する可能性がある。	規模縮小
62	石浜西小学校	5,931.00	299	355	395	428	474	人	児童数	18.7%	↑	10.7%	↑	あり	現在よりは縮小する	児童(学区)	石浜地区	1,981	1,444	-27.1%	年少	↓	なし	規模縮小	今後15年で片徳小学校区及び石浜西小学校の年少人口は27%減少する見込み。他地区は小学校が1施設つ立地する中で、石浜地区のみ小学校が2施設立地している。	規模縮小
65	東浦中学校	12,529.25	800	770	760	740	746	人	生徒数	-3.8%	↓	0.8%	↑	どちらともい えない	現在よりは縮小する	生徒(学区)	石浜・生路・藤江地区	3,622	2,765	-23.7%	年少	↓	なし	規模縮小	今後15年で東浦中学校区の年少人口は24%減少する見込み。	規模縮小
6	生路分団詰所	99.22	0	0	0	0	0	人	利用者数					どちらともい えない	現在と同等、現在以上 見込める	消防団員(地区)	生路地区	5,776	5,614	-2.8%	合計	↑	あり	規模維持	災害への備えとして必要である。他施設での代替は難しい。	規模維持
18	生路保育園	1,001.73	126	136	130	135	125	人	園児数	7.9%	↑	-7.4%	↓	どちらともい えない	現在よりは縮小する	園児(地区)	生路地区	795	617	-22.4%	年少	↓	なし	規模縮小	今後15年で生路小学校区の年少人口は22%減少する見込み。共働き世帯の増加等により需要が増加する可能性がある。	規模維持
25	生路児童館	442.41	21,494	21,238	18,044	11,748	16,439	人	延べ利用人数(児童館一般利用+児童クラブ)	-1.2%	↓	39.9%	↑	どちらともい えない	現在よりは縮小する	児童(地区)	生路地区	795	617	-22.4%	年少	↓	なし	規模縮小	今後15年で生路小学校区の年少人口は22%減少する見込み。共働き世帯の増加等により需要が増加する可能性がある。	規模維持
34	生路コミュニティセンター	510.00	15,466	15,618	12,605	4,717	8,382	人	利用者数	1.0%	↑	77.7%	↑	あり	どちらともい えない	地区住民	生路地区	5,776	5,614	-2.8%	合計	↑	あり	規模維持	地域コミュニティ活動を支援している。	規模維持
45	生路老人憩の家	141.75	2,632	2,457	2,473	681	1,026	人	利用者数	-6.6%	↓	50.7%	↑	どちらともい えない	どちらともい えない	高齢者(地区)	生路地区	1,303	1,639	25.8%	老年	↑	あり	規模維持	町民アンケートでは、今まで一度も利用したことが無い割合が、全体では約9割、60歳代以上では約8.4割。利用対象を全年齢に拡大したものの、老人クラブ以外の利用は増えていない。高齢者人口が増加しているが老人クラブ会員は減少。	規模縮小
63	生路小学校	5,708.00	331	323	307	314	328	人	児童数	-2.4%	↓	4.5%	↑	どちらともい えない	現在よりは縮小する	児童(学区)	生路地区	795	617	-22.4%	年少	↓	なし	規模縮小	今後15年で生路小学校区の年少人口は22%減少する見込み。35人学級への対応のため、必要規模が同等または拡大する可能性がある。	規模縮小
7	藤江分団詰所	77.64	0	0	0	0	0	人	利用者数					どちらともい えない	現在と同等、現在以上 見込める	消防団員(地区)	藤江地区	7,022	6,764	-3.7%	合計	↑	あり	規模維持	災害への備えとして必要である。他施設での代替は難しい。	規模維持
19	藤江保育園	1,398.99	185	177	189	199	216	人	園児数	-4.3%	↓	8.5%	↑	どちらともい えない	現在よりは縮小する	園児(地区)	藤江地区	846	704	-16.8%	年少	↓	なし	規模縮小	今後15年で藤江小学校区の年少人口は17%減少する見込み。共働き世帯の増加等により需要が増加する可能性がある。	規模維持
26	藤江児童館	425.75	17,263	16,874	13,940	12,299	15,669	人	延べ利用人数(児童館一般利用+児童クラブ)	-2.3%	↓	27.4%	↑	どちらともい えない	現在よりは縮小する	児童(地区)	藤江地区	846	704	-16.8%	年少	↓	なし	規模縮小	今後15年で藤江小学校区の年少人口は17%減少する見込み。共働き世帯の増加等により需要が増加する可能性がある。	規模維持
35	藤江公民館	392.40	4,885	5,552	4,917	1,464	1,612	人	利用者数	13.7%	↑	10.1%	↑	あり	現在よりは縮小する	地区住民	藤江地区	7,022	6,764	-3.7%	合計	↑	あり	規模維持	コミュニティセンターと機能が重複している。	規模縮小
46	藤江老人憩の家	180.85	3,635	3,548	3,189	1,309	1,884	人	利用者数	-2.4%	↓	43.9%	↑	どちらともい えない	どちらともい えない	高齢者(地区)	藤江地区	1,552	2,193	41.3%	老年	↑	あり	規模維持	町民アンケートでは、今まで一度も利用したことが無い割合が、全体では約9割、60歳代以上では約8.4割。利用対象を全年齢に拡大したものの、老人クラブ以外の利用は増えていない。高齢者人口が増加しているが老人クラブ会員は減少。	規模縮小
55	藤江コミュニティセンター ※学習・交流	798.83	5,547	5,747	5,907	2,304	2,840	人	利用者数	3.6%	↑	23.3%	↑	あり	現在と同等、現在以上 見込める	地区住民	藤江地区	7,022	6,764	-3.7%	合計	↑	あり	規模維持	地域コミュニティ活動を支援している。地区別ヒアリングによると和室の利用が少ない。	規模維持
55	藤江コミュニティセンター ※運動	798.83	22,145	23,708	21,609	14,029	15,120	人	利用者数	7.1%	↑	7.8%	↑	あり	現在と同等、現在以上 見込める	地区住民	藤江地区	7,022	6,764	-3.7%	合計	↑	あり	規模維持	地域のスポーツ機会を提供している。	規模維持
64	藤江小学校	6,346.50	406	317	370	364	338	人	児童数	-21.9%	↓	-7.1%	↓	なし	現在よりは縮小する	児童(学区)	藤江地区	846	704	-16.8%	年少	↓	なし	規模縮小	今後15年で藤江小学校区の年少人口は17%減少する見込み。35人学級への対応のため、必要規模が同等または拡大する可能性がある。	規模縮小
	半田消防署東浦支署	751.20												どちらともい えない	現在と同等、現在以上 見込める	全町民	全町	50,306	48,278	-4.0%	合計	↑	あり	規模維持		規模維持
	半田消防署東浦西部出張所	916.79												どちらともい えない	現在と同等、現在以上 見込める	全町民	全町	50,306	48,278	-4.0%	合計	↑	あり	規模維持		規模維持

第2節 提供主体可能性検討

1 評価指標

提供主体では、代替施設、民間提供、広域連携（他自治体提供）、地元移譲（地元提供）の観点で評価します。

【評価指標の考え方】

評価指標		考え方	出典
代替施設	代替施設の状態	近隣に類似・代替施設の有無により判定します。	個別施設計画「代替」
民間提供	民間提供の可能性	民間提供の可能性を施設管理者の意見に基づき判定します。	施設管理者ヒアリング
広域連携	広域相互利用	施設相互利用の実施に基づき判定します。	施設相互利用一覧
	広域連携の可能性	広域連携の可能性を施設管理者の意見に基づき判定します。	施設管理者ヒアリング
地元移譲	地元移譲の可能性	地域移譲の可能性を施設管理者の意見に基づき判定します。	施設管理者ヒアリング

【評価指標の判定基準】

評価指標		判断基準	
代替施設	代替施設の状態	○	代替施設の状態→Ⅰ地区内または5km 圏内(町内)に有る
		△	代替施設の状態→Ⅱ10km 圏内(定住自立圏域)に有る
		－	代替施設の状態→Ⅲ10km 圏内(定住自立圏域)に無い
民間提供	民間提供の可能性	○	民間提供の可能性→可能性あり
		△	民間提供の可能性→どちらともいえない
		－	民間提供の可能性→可能性なし
広域連携	広域相互利用	○	広域相互利用→◎ 広域連携の可能性→可能性あり どちらかあり
		△	広域相互利用→－ 広域連携の可能性→どちらともいえない
	広域連携の可能性	－	広域相互利用→－ 広域連携の可能性→可能性なし
地元移譲	地元移譲の可能性	○	地域譲渡の可能性→可能性あり
		△	地域譲渡の可能性→どちらともいえない
		－	地域譲渡の可能性→可能性なし

2 評価結果

凡例 施設名 ……森岡地区に位置する施設、 施設名 ……緒川地区、 施設名 ……緒川新田地区、 施設名 ……石浜地区、 施設名 ……生路地区、 施設名 ……藤江地区

施設別No.	施設名	延床面積 (㎡)	②提供主体可能性								
			代替施設		民間提供		広域連携			地元移譲	
			代替	評価	民間提供の可能性があるか【ヒア】	評価	広域連携の可能性があるか【ヒア】	広域相互利用	評価	地元移譲の可能性があるか【ヒア】	評価
1	役場	5,442.50	Ⅲ	-	可能性なし	-	どちらともいえない		△	可能性なし	-
11	総合ボランティアセンター	146.65	Ⅱ	△	可能性なし	-	どちらともいえない		△	可能性なし	-
27	子育て支援センター	1,204.07	Ⅰ	○	どちらともいえない	△	どちらともいえない		△	どちらともいえない	△
28	なかよし学園	323.54	Ⅲ	-	どちらともいえない	△	可能性なし		-	可能性なし	-
29	文化センター	1,993.50	Ⅰ	○	可能性あり	○	可能性あり	有	○	可能性なし	-
36	郷土資料館	999.72	Ⅰ	○	可能性あり	○	可能性あり		○	可能性なし	-
37	中央図書館	2,634.73	Ⅱ	△	可能性あり	○	可能性あり	◎	○	可能性なし	-
38	福祉センター ※学習・交流	1,186.98	Ⅲ	-	可能性なし	-	どちらともいえない		△	可能性なし	-
38	福祉センター ※福祉	1,186.98	Ⅲ	-	可能性なし	-	どちらともいえない		△	可能性なし	-
48	高齢者相談支援センター	115.20	Ⅲ	-	可能性なし	-	どちらともいえない		△	可能性なし	-
49	保健センター	1,040.31	Ⅰ	○	可能性なし	-	可能性なし		-	可能性なし	-
50	勤労福祉会館 ※学習・交流	2,579.29	Ⅱ	△	可能性あり	○	可能性あり	◎	○	可能性なし	-
50	勤労福祉会館 ※行政	2,579.29	Ⅱ	△	可能性あり	○	可能性あり	◎	○	可能性なし	-
51	東浦文化広場 (体育館)	2,871.99	Ⅰ	○	可能性あり	○	可能性あり	◎	○	可能性なし	-
52	東浦文化広場 (はなのき会館)	453.03	Ⅰ	○	可能性あり	○	可能性あり	◎	○	可能性なし	-
56	町営藤江住宅	167.84	Ⅰ	○	可能性あり	○	可能性なし		-	可能性あり	○
57	町営半ノ木住宅	840.03	Ⅰ	○	可能性あり	○	可能性なし		-	可能性あり	○
68	学校給食センター	3,475.21	Ⅱ	△	可能性あり	○	可能性なし		-	可能性なし	-
2	森岡分団話所	99.94	Ⅰ	○	可能性なし	-	可能性なし		-	可能性なし	-
12	森岡保育園	617.49	Ⅰ	○	可能性あり	○	可能性なし		-	可能性なし	-
13	森岡西保育園	1,337.30	Ⅰ	○	可能性あり	○	可能性なし		-	可能性なし	-
20	森岡児童館	329.02	Ⅰ	○	どちらともいえない	△	どちらともいえない		△	どちらともいえない	△
30	森岡コミュニティセンター	788.07	Ⅰ	○	可能性あり	○	可能性あり		○	可能性あり	○
40	森岡老人憩の家	171.69	Ⅰ	○	どちらともいえない	△	どちらともいえない		△	どちらともいえない	△
53	北部ふれあいセンター ※学習・交流	721.38	Ⅰ	○	どちらともいえない	△	どちらともいえない		△	どちらともいえない	△
53	北部ふれあいセンター ※運動		Ⅰ	○	どちらともいえない	△	どちらともいえない		△	どちらともいえない	△
58	森岡小学校	6,837.00	Ⅲ	-	可能性なし	-	可能性なし		-	可能性なし	-
3	緒川分団話所	117.69	Ⅰ	○	可能性なし	-	可能性なし		-	可能性なし	-
8	北部防災倉庫	269.78	Ⅰ	○	可能性なし	-	可能性なし		-	可能性なし	-
10	役場東防災倉庫	184.69	Ⅰ	○	可能性なし	-	可能性なし		-	可能性なし	-
14	緒川保育園	1,790.07	Ⅰ	○	どちらともいえない	△	可能性なし		-	可能性なし	-
21	緒川児童館	618.33	Ⅰ	○	どちらともいえない	△	どちらともいえない		△	どちらともいえない	△
31	緒川コミュニティセンター	933.54	Ⅰ	○	可能性あり	○	可能性あり		○	可能性あり	○
41	緒川老人憩の家	274.59	Ⅰ	○	どちらともいえない	△	どちらともいえない		△	どちらともいえない	△
43	相生老人憩の家	134.37	Ⅰ	○	どちらともいえない	△	どちらともいえない		△	どちらともいえない	△
59	緒川小学校	8,860.00	Ⅲ	-	可能性なし	-	可能性なし		-	可能性なし	-
66	北部中学校	11,982.00	Ⅲ	-	可能性なし	-	可能性なし		-	可能性なし	-

施設別No	施設名	延床面積(m)	②提供主体可能性									
			代替施設		民間提供		広域連携			地元移譲		
			代替	評価	民間提供の可能性があるか【ヒア】	評価	広域連携の可能性があるか【ヒア】	広域相互利用	評価	地元移譲の可能性があるか【ヒア】	評価	
4	緒川新田分団詰所	101.93	I	○	可能性なし	-	可能性なし		-	可能性なし	-	
9	西部防災倉庫	268.74	I	○	可能性なし	-	可能性なし		-	可能性なし	-	
15	緒川新田保育園	1,266.10	I	○	どちらともいえない	△	可能性なし		-	可能性なし	-	
22	緒川新田児童館	458.68	I	○	どちらともいえない	△	どちらともいえない		△	どちらともいえない	△	
32	卯ノ里コミュニティセンター	740.40	I	○	可能性あり	○	可能性あり		○	可能性あり	○	
42	緒川新田老人憩の家	358.22	I	○	どちらともいえない	△	どちらともいえない		△	どちらともいえない	△	
47	東ヶ丘交流館	136.64	I	○	どちらともいえない	△	どちらともいえない		△	どちらともいえない	△	
54	西部ふれあいセンター ※学習・交流	713.03	I	○	どちらともいえない	△	どちらともいえない		△	どちらともいえない	△	
54	西部ふれあいセンター ※運動	713.03	I	○	どちらともいえない	△	どちらともいえない		△	どちらともいえない	△	
60	卯ノ里小学校	9,275.00	Ⅲ	-	可能性なし	-	可能性なし		-	可能性なし	-	
67	西部中学校	8,476.00	Ⅲ	-	可能性なし	-	可能性なし		-	可能性なし	-	
5	石浜分団詰所	103.24	I	○	可能性なし	-	可能性なし		-	可能性なし	-	
16	石浜保育園	1,768.49	I	○	どちらともいえない	△	可能性なし		-	可能性なし	-	
17	石浜西保育園	1,770.36	I	○	どちらともいえない	△	可能性なし		-	可能性なし	-	
23	石浜児童館	544.70	I	○	どちらともいえない	△	どちらともいえない		△	どちらともいえない	△	
24	石浜西児童館	345.00	I	○	どちらともいえない	△	どちらともいえない		△	どちらともいえない	△	
33	石浜コミュニティセンター	535.91	I	○	可能性あり	○	可能性あり		○	可能性あり	○	
44	石浜老人憩の家	588.74	I	○	どちらともいえない	△	どちらともいえない		△	どちらともいえない	△	
61	片葩小学校	8,117.00	I	○	可能性なし	-	可能性なし		-	可能性なし	-	
62	石浜西小学校	5,931.00	I	○	可能性なし	-	可能性なし		-	可能性なし	-	
65	東浦中学校	12,529.00	Ⅲ	-	可能性なし	-	可能性なし		-	可能性なし	-	
6	生路分団詰所	99.22	I	○	可能性なし	-	可能性なし		-	可能性なし	-	
18	生路保育園	1,001.73	I	○	どちらともいえない	△	可能性なし		-	可能性なし	-	
25	生路児童館	442.41	I	○	どちらともいえない	△	どちらともいえない		△	どちらともいえない	△	
34	生路コミュニティセンター	510.00	I	○	可能性あり	○	可能性あり		○	可能性あり	○	
45	生路老人憩の家	141.75	I	○	どちらともいえない	△	どちらともいえない		△	どちらともいえない	△	
63	生路小学校	5,708.00	Ⅲ	-	可能性なし	-	可能性なし		-	可能性なし	-	
7	藤江分団詰所	77.64	I	○	可能性なし	-	可能性なし		-	可能性なし	-	
19	藤江保育園	1,398.99	I	○	どちらともいえない	△	可能性なし		-	可能性なし	-	
26	藤江児童館	425.75	I	○	どちらともいえない	△	どちらともいえない		△	どちらともいえない	△	
35	藤江公民館	392.40	I	○	可能性あり	○	可能性あり		○	可能性あり	○	
46	藤江老人憩の家	180.85	I	○	どちらともいえない	△	どちらともいえない		△	どちらともいえない	△	
55	藤江コミュニティセンター ※学習・交流	798.83	I	○	どちらともいえない	△	どちらともいえない		△	どちらともいえない	△	
55	藤江コミュニティセンター ※運動	798.83	I	○	どちらともいえない	△	どちらともいえない		△	どちらともいえない	△	
64	藤江小学校	6,346.50	Ⅲ	-	可能性なし	-	可能性なし		-	可能性なし	-	
	半田消防署東浦支署	751.20	Ⅱ	△	可能性なし	-	可能性なし		-	可能性なし	-	
	半田消防署東浦西部出張所	916.79	Ⅱ	△	可能性なし	-	可能性なし		-	可能性なし	-	

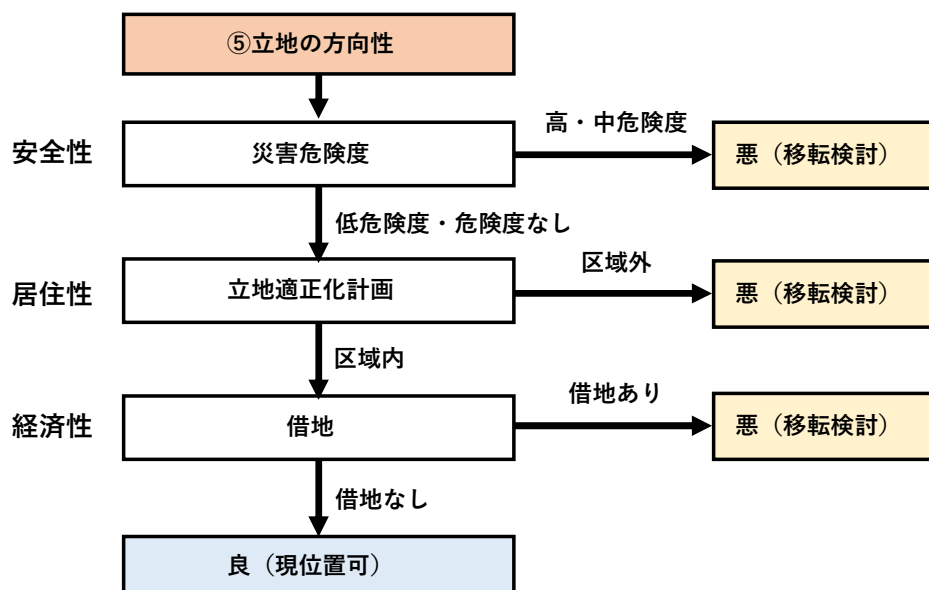
第3節 立地の方向性検討

1 評価方法

立地の方向性検討に当たっては、以下の評価フローに基づき実施します。

経済性・安全性・居住性の指標を用いて公共施設の立地(現位置可または移転検討)を評価し、施設ごとの特筆事項を踏まえ、立地の方向性を設定します。

【評価フロー】



【評価指標の考え方】

評価項目		考え方	出典
安全性	災害危険度	津波、洪水、液状化、土砂災害、高潮の安全性で判定します。	ハザードマップ マップあいち 防災マップ
居住性	立地適正化計画	居住誘導区域の指定の有無で判定します。	立地適正化計画
経済性	借地	建物場所の借地の有無で判定します。	施設管理者ヒアリング

【評価指標の判定基準】

評価項目		判定基準	
安全性	災害危険度※	いずれかの災害で危険度「高」の区域を有する	高危険度
		いずれかの災害で危険度「中」の区域を有する	中危険度
		いずれかの災害で危険度「低」の区域を有する	低危険度
		いずれの災害でも危険度なし	危険度なし
居住性	立地適正化計画	居住誘導区域の指定区域内である	区域内
		居住誘導区域の指定区域外である	区域外
経済性	借地	建物場所に借地を有していない	借地なし
		建物場所に借地を有する	借地あり

※各災害の危険度の考え方

危険度	高	中	低	無
津波	浸水深3m以上 (2階以上に 浸水想定)	浸水深0.5m以上 3m未満 (避難困難目安)	浸水深0.5m未満	ハザード区域外
洪水	浸水深3m以上 (2階以上に 浸水想定)	浸水深0.5m以上 3m未満 (避難困難目安)	浸水深0.5m未満	ハザード区域外
液状化	可能性が極めて 高いもしくは 可能性が高い	可能性が低い	可能性が極めて 低い	ハザード区域外
土砂災害	土砂災害警戒区域 (建物該当)	土砂災害警戒区域 (建物該当なし)	山腹崩壊危険地区	ハザード区域外
高潮	浸水深3m以上 (2階以上に 浸水想定)	浸水深0.5m以上 3m未満 (避難困難目安)	浸水深0.5m未満	ハザード区域外

2 評価結果

凡例 施設名 … 森岡地区に位置する施設、 施設名 … 緒川地区、 施設名 … 緒川新田地区、 施設名 … 石浜地区、 施設名 … 生路地区、 施設名 … 藤江地区

施設別 No.	施設名	③立地評価														立地評価	特筆事項	立地評価【補正】	立地の方向性	
		土地所有		立地適正化計画		津波		洪水		液状化		土砂災害		高潮						判定
		土地所有状況	判定 ※建物場所 借地有無	立地適正化計画	判定	津波	危険度	洪水	危険度	液状化	危険度	土砂災害	危険度	高潮	危険度					
1	役場	借地 (駐車場のみ)	借地なし	居住誘導区域	区域内		無		無		無		無		無	危険度なし	良	—	良	現位置可
11	総合ボランティアセンター		借地なし	居住誘導区域(防災重点エリア)	区域内		無	○ 0.5m以上 1m未満	中		無		無	○ 2m以上5m 未満	高	高危険度	悪	—	悪	移転検討
27	子育て支援センター		借地なし	居住誘導区域	区域内		無		無		○ 土砂災害警戒区域 (建物該当)	高		無	高危険度	悪	—	悪	移転検討	
28	なかよし学園		借地なし	居住誘導区域	区域内		無		無		無		無	無	危険度なし	良	—	良	現位置可	
29	文化センター		借地なし	居住誘導区域(防災重点エリア)	区域内		無	○ 1m以上3m 未満	中	○ 可能性が極めて 低い	低		無	○ 2m以上5m 未満	高	高危険度	悪	—	悪	移転検討
36	郷土資料館		借地なし	居住誘導区域	区域内		無		無		○ 土砂災害警戒区域 (建物該当)	高		無	高危険度	悪	—	悪	移転検討	
37	中央図書館	借地 (駐車場のみ)	借地なし	居住誘導区域(防災重点エリア)	区域内		無	○ 0.3m以上~ 0.5m未満	中		無		無	○ 0.3m以上 1m未満	中	中危険度	悪	—	悪	移転検討
38	福祉センター		借地なし	居住誘導区域(防災重点エリア)	区域内		無	○ 1m以上3m 未満	中	○ 可能性が極めて 低い	低		無	○ 2m以上5m 未満	高	高危険度	悪	—	悪	移転検討
39	旧ひだまり		借地なし	居住誘導区域(防災重点エリア)	区域内		無	○ 0.5m以上 1m未満	中		無		無	○ 2m以上5m 未満	高	高危険度	悪	—	悪	移転検討
48	高齢者相談支援センター		借地なし	居住誘導区域(防災重点エリア)	区域内		無	○ 0.5m以上 1m未満	中	○ 可能性が極めて 低い	低		無	○ 2m以上5m 未満	高	高危険度	悪	—	悪	移転検討
49	保健センター		借地なし	居住誘導区域(防災重点エリア)	区域内		無	○ 1m以上3m 未満	中	○ 可能性が極めて 低い	低		無	○ 2m以上5m 未満	高	高危険度	悪	—	悪	移転検討
50	勤労福祉会館	借地 (駐車場のみ)	借地なし	居住誘導区域(防災重点エリア)	区域内		無	○ 0.5m以上 1m未満	中	○ 可能性が極めて 低い	低		無	○ 2m以上5m 未満	高	高危険度	悪	—	悪	移転検討
51	東浦文化広場(体育館)	借地 (駐車場のみ)	借地なし	居住誘導区域	区域内		無		無		○ 土砂災害警戒区域 (建物該当なし)	中		無	中危険度	悪	—	悪	移転検討	
52	東浦文化広場(はなのき会館)		借地なし	居住誘導区域	区域内		無		無		○ 土砂災害警戒区域 (建物該当なし)	中		無	中危険度	悪	—	悪	移転検討	
56	町営藤江住宅		借地なし	指定なし	区域外		無		無		無		無	無	危険度なし	悪	—	悪	移転検討	
57	町営半ノ木住宅		借地なし	指定なし	区域外		無		無		無		無	無	危険度なし	悪	—	悪	移転検討	
68	学校給食センター		借地なし	指定なし	区域外		無		無		無		無	無	危険度なし	悪	給食センターは建設基準法上の用途では「工場」であり、居住性は求められない	良	現位置可	
2	森岡分団詰所		借地なし	居住誘導区域(防災重点エリア)	区域内		無	○ 1m以上3m 未満	中		無		無	○ 2m以上5m 未満	高	高危険度	悪	—	悪	移転検討
12	森岡保育園	借地 (建物含む)	借地あり	居住誘導区域	区域内		無		無		無		無	無	危険度なし	悪	—	悪	移転検討	
13	森岡西保育園	借地 (駐車場のみ)	借地なし	居住誘導区域	区域内		無		無		無		無	無	危険度なし	良	—	良	現位置可	
20	森岡児童館		借地なし	居住誘導区域	区域内		無		無		無		無	無	危険度なし	良	—	良	現位置可	
30	森岡コミュニティセンター		借地なし	居住誘導区域	区域内		無		無	○ 可能性が極めて 高い	高		無	無	高危険度	悪	—	悪	移転検討	
40	森岡老人憩の家		借地なし	居住誘導区域	区域内		無		無		無		無	無	危険度なし	良	—	良	現位置可	
53	北部ふれあいセンター		借地なし	居住誘導区域	区域内		無		無		無		無	無	危険度なし	良	—	良	現位置可	
58	森岡小学校		借地なし	居住誘導区域	区域内		無		無		無		無	無	危険度なし	良	—	良	現位置可	
3	緒川分団詰所		借地なし	居住誘導区域(防災重点エリア)	区域内		無	○ 1m以上3m 未満	中	○ 可能性が高い	高		無	○ 2m以上5m 未満	高	高危険度	悪	—	悪	移転検討
8	北部防災倉庫		借地なし	居住誘導区域(防災重点エリア)	区域内		無	○ 0.5m以上 1m未満	中		無		無	○ 2m以上5m 未満	高	高危険度	悪	—	悪	移転検討
10	役場東防災倉庫		借地なし	居住誘導区域	区域内		無		無		無		無	無	危険度なし	良	—	良	現位置可	
14	緒川保育園		借地なし	指定なし	区域外		無		無		無		無	無	危険度なし	悪	—	悪	移転検討	
21	緒川児童館		借地なし	居住誘導区域(防災重点エリア)	区域内		無	○ 0.3m以上~ 0.5m未満	中		無		無	○ 1m以上2m 未満	中	中危険度	悪	—	悪	移転検討
31	緒川コミュニティセンター		借地なし	居住誘導区域(防災重点エリア)	区域内		無	○ 0.5m以上 1m未満	中	○ 可能性が高い	高		無	○ 2m以上5m 未満	高	高危険度	悪	—	悪	移転検討
41	緒川老人憩の家		借地なし	居住誘導区域	区域内		無		無		無		無	○ 1m以上2m 未満	中	中危険度	悪	—	悪	移転検討
43	相生老人憩の家		借地なし	指定なし	区域外		無		無		無		無	無	危険度なし	悪	—	悪	移転検討	
59	緒川小学校	借地 (建物含む)	借地あり	居住誘導区域	区域内		無		無		無		無	無	危険度なし	悪	—	悪	移転検討	
66	北部中学校		借地なし	指定なし	区域外		無		無		無		無	無	危険度なし	悪	—	悪	移転検討	

施設別 No.	施設名	③立地評価														立地評価	特筆事項	立地評価 【補正】	立地の 方向性	
		土地所有		立地適正化計画		津波		洪水		液状化		土砂災害		高潮						判定
		土地所有状況	判定 ※建物場所 借地有無	立地適正化計画	判定	津波	危険 度	洪水	危険 度	液状化	危険 度	土砂 災害	危険 度	高潮	危険 度					
4	緒川新田分団詰所		借地なし	居住誘導区域	区域内		無		無		無		無		無	危険度なし	良	—	良	現位置可
9	西部防災倉庫		借地なし	指定なし	区域外		無		無		無		無		無	危険度なし	悪	—	悪	移転検討
15	緒川新田保育園		借地なし	指定なし	区域外		無		無		無		無		無	危険度なし	悪	—	悪	移転検討
22	緒川新田児童館		借地なし	居住誘導区域	区域内		無		無		無		無		無	危険度なし	良	—	良	現位置可
32	卯ノ里コミュニティセンター	借地 (駐車場のみ)	借地なし	指定なし	区域外		無		無		無		無		無	危険度なし	悪	—	悪	移転検討
42	緒川新田老人憩の家	借地 (駐車場のみ)	借地なし	居住誘導区域	区域内		無		無		無		無		無	危険度なし	良	—	良	現位置可
47	東ヶ丘交流館		借地なし	居住誘導区域	区域内		無		無		無		無		無	危険度なし	良	—	良	現位置可
54	西部ふれあいセンター		借地なし	居住誘導区域	区域内		無		無		無		無		無	危険度なし	良	—	良	現位置可
60	卯ノ里小学校		借地なし	指定なし	区域外		無		無		無		無		無	危険度なし	悪	—	悪	移転検討
67	西部中学校		借地なし	居住誘導区域	区域内		無		無		無		無		無	危険度なし	良	—	良	現位置可
5	石浜分団詰所		借地なし	居住誘導区域(防災重点 エリア)	区域内		無		無	○可能性が高い	高		無	○2m以上5m 未満	高	高危険度	悪	—	悪	移転検討
16	石浜保育園		借地なし	居住誘導区域	区域内		無		無		無		無		無	危険度なし	良	—	良	現位置可
17	石浜西保育園	借地 (建物含む)	借地あり	居住誘導区域	区域内		無		無		無		無		無	危険度なし	悪	—	悪	移転検討
23	石浜児童館	借地 (駐車場のみ)	借地なし	居住誘導区域	区域内		無		無		無		無		無	危険度なし	良	—	良	現位置可
24	石浜西児童館		借地なし	居住誘導区域	区域内		無		無		無	○土砂災害警戒区域 (建物該当なし)	中		無	中危険度	悪	—	悪	移転検討
33	石浜コミュニティセンター	借地 (建物含む)	借地あり	居住誘導区域	区域内		無		無		無		無		無	危険度なし	悪	—	悪	移転検討
44	石浜老人憩の家		借地なし	居住誘導区域	区域内		無		無		無		無		無	危険度なし	良	—	良	現位置可
61	片葩小学校		借地なし	居住誘導区域	区域内		無		無		無		無		無	危険度なし	良	—	良	現位置可
62	石浜西小学校		借地なし	指定なし	区域外		無		無		無		無		無	危険度なし	悪	—	悪	移転検討
65	東浦中学校		借地なし	居住誘導区域(防災重点 エリア)	区域内		無	○1m以上3m 未満	中	○可能性が極め て低い	低		無	○1m以上2m 未満	中	中危険度	悪	対象となる石浜西小、片葩小、生路小、藤江小の配置から見ると、学区の北端に位置しており、立地上不便である高潮について、グラウンドは2m-5m未満	悪	移転検討
6	生路分団詰所		借地なし	居住誘導区域(防災重点 エリア)	区域内		無		無		無		無	○1m以上2m 未満	中	中危険度	悪	—	悪	移転検討
18	生路保育園		借地なし	居住誘導区域	区域内		無		無		無		無		無	危険度なし	良	—	良	現位置可
25	生路児童館		借地なし	居住誘導区域	区域内		無		無		無		無		無	危険度なし	良	—	良	現位置可
34	生路コミュニティセンター		借地なし	居住誘導区域	区域内		無		無		無		無		無	危険度なし	良	—	良	現位置可
45	生路老人憩の家		借地なし	居住誘導区域	区域内		無		無		無		無		無	危険度なし	良	—	良	現位置可
63	生路小学校	借地 (建物含む)	借地あり	居住誘導区域	区域内		無		無		無	○土砂災害警戒区域 (建物該当)	高		無	高危険度	悪	—	悪	移転検討
7	藤江分団詰所	借地 (建物含む)	借地あり	居住誘導区域(防災重点 エリア)	区域内		無	○0.3m以上～ 0.5m未満	中	○可能性が極め て低い	低		無	○0.01m以上 0.3m未満	低	中危険度	悪	—	悪	移転検討
19	藤江保育園	借地 (建物含む)	借地あり	指定なし	区域外		無		無		無		無		無	危険度なし	悪	—	悪	移転検討
26	藤江児童館	借地 (建物含む)	借地あり	指定なし	区域外		無		無		無		無		無	危険度なし	悪	—	悪	移転検討
35	藤江公民館	借地 (建物含む)	借地あり	居住誘導区域(防災重点 エリア)	区域内		無		無	○可能性が極め て低い	低		無	○0.3m以上 1m未満	中	中危険度	悪	—	悪	移転検討
46	藤江老人憩の家	借地 (駐車場のみ)	借地なし	指定なし	区域外		無		無		無		無		無	危険度なし	悪	—	悪	移転検討
55	藤江コミュニティセンター	借地 (建物含む)	借地あり	指定なし	区域外		無		無		無	○土砂災害警戒区域 (建物該当なし)	中		無	中危険度	悪	—	悪	移転検討
64	藤江小学校	借地 (建物含む)	借地あり	指定なし	区域外		無		無		無	○山腹崩壊危険地区	低		無	低危険度	悪	—	悪	移転検討
	半田消防署東浦支署		借地なし	居住誘導区域(防災重点 エリア)	区域内		無	○0.5m以上 1m未満	中	○可能性が極め て低い	低		無	○2m以上5m 未満	高	高危険度	悪	—	悪	移転検討
	半田消防署東浦西部出張所		借地なし	指定なし	区域外		無		無		無		無		無	危険度なし	悪	—	悪	移転検討

第4節 建物健全度検討

1 評価方法

建物健全度の検討に当たっては、以下の評価方法に基づき実施します。

建物状況、安全性、利便性の指標を用いて各建物を点数化し、建物の健全度を評価します。

【評価指標の考え方】

評価項目		考え方	出典
建物状況	老朽化度	各棟の建築年度よりR5末時点の残耐用年数を棟別に算出したのち、加重平均に基づき各建物の残耐用年数の残存年数比率を算出し、評価します。	建築年度より計算
	津波	津波のハザード状況を評価します。津波浸水の可能性が低い建物ほど、建物評価は高いとします。	マップあいち(ハザードマップ)
安全性	洪水	洪水のハザード状況を評価します。洪水浸水の警戒区域対象外の建物ほど、建物評価は高いとします。	マップあいち(ハザードマップ)
	液状化	液状化のハザード状況を評価します。液状化の可能性が低い建物ほど、建物評価は高いとします。	愛知県防災学習システム
	土砂災害	土砂災害のハザード状況を評価します。山腹崩壊危険地区の対象外の建物ほど、建物評価は高いとします。	マップあいち(ハザードマップ)・防災マップ
	高潮	高潮浸水のハザード状況を評価します。高潮浸水の警戒区域対象外の建物ほど、建物評価は高いとします。	マップあいち(ハザードマップ)・高潮浸水想定区域図(東浦町)

【評価指標の点数化】

評価項目	配点(a)					重付係数(b)	評価点満点(a×b)	
	4点	8点	12点	16点	20点			
建物状況	目標耐用残存年数比率	%で計算し、×100を行うことにより、100点満点換算へ数値化					2	200
安全性	津波	1m以上	0.5m以上 1m未満	0.3m以上 0.5m未満	0.3m未満	なし	1	20
	洪水	1m以上	0.5m以上 1m未満	0.3m以上 0.5m未満	0.3m未満	なし	1	20
	液状化	可能性が極めて高い	可能性が高い	可能性が低い	可能性が極めて低い	なし	1	20
	土砂災害	土砂災害警戒区域	—	山腹崩壊危険地区	—	なし	1	20
	高潮	2m以上	1m以上 2m未満	0.3m以上 1m未満	0.01m以上 0.3m未満	なし	1	20
計							—	300

2 評価結果

凡例 施設名 ……森岡地区に位置する施設、 施設名 ……緒川地区、 施設名 ……緒川新田地区、 施設名 ……石浜地区、 施設名 ……生路地区、 施設名 ……藤江地区

施設別No.	施設名	建築年度	残目標耐用年数率 (重付係数×2) (200点満点)	④建物健全度										安全性 100点満点	健全度 目標耐用年 数残存率 (300点)
				安全性(100点)											
				津波		洪水		液状化		土砂災害		高潮			
津波	点数	洪水	点数	液状化	点数	土砂災害	点数	高潮	点数						
1	役場	1968	46.2		5		5		5		5		5	100	192.4
11	総合ボランティアセンター	1987	55.0		5	○ 0.5m以上 1m未満	2		5		5	○ 2m以上5m 未満	1	72	182.0
27	子育て支援センター	2011	83.8		5		5		5	○ 土砂災害警戒区域(建 物該当)	1		5	84	251.5
28	なかよし学園	2011	70.6		5		5		5		5		5	100	241.2
29	文化センター	1977	41.3		5	○ 1m以上3m 未満	1	○ 可能性が極 めて低い	4		5	○ 2m以上5m 未満	1	64	146.5
36	郷土資料館	1999	70.0		5		5		5	○ 土砂災害警戒区域(建 物該当)	1		5	84	224.0
37	中央図書館	1991	58.8		5	○ 0.3m以上 0.5m未満	3		5		5	○ 0.3m以上 1m未満	3	84	201.5
38	福祉センター	1993	61.3		5	○ 1m以上3m 未満	1	○ 可能性が極 めて低い	4		5	○ 2m以上 5m未満	1	64	186.5
39	旧ひだまり	1987	55.0		5	○ 0.5m以上 1m未満	2		5		5	○ 2m以上 5m未満	1	72	182.0
48	高齢者相談支援センター	1979	43.8		5	○ 0.5m以上 1m未満	2	○ 可能性が極 めて低い	4		5	○ 2m以上 5m未満	1	68	155.5
49	保健センター	1977	49.5		5	○ 1m以上3m 未満	1	○ 可能性が極 めて低い	4		5	○ 2m以上 5m未満	1	64	162.9
50	勤労福祉会館	1979	43.8		5	○ 0.5m以上 1m未満	2	○ 可能性が極 めて低い	4		5	○ 2m以上 5m未満	1	68	155.5
51	東浦文化広場(体育館)	1983	48.8		5		5		5	○ 土砂災害警戒区域(建 物該当なし)	1		5	84	181.5
52	東浦文化広場(はなのき会館)	1983	48.8		5		5		5	○ 土砂災害警戒区域(建 物該当なし)	1		5	84	181.5
56	町営藤江住宅	2001	56.0		5		5		5		5		5	100	212.0
57	町営半ノ木住宅	2004	63.3		5		5		5		5		5	100	226.6
68	学校給食センター	2014	87.5		5		5		5		5		5	100	275.0
2	森岡分団詰所	1981	47.5		5	○ 1m以上3m 未満	1		5		5	○ 2m以上5m 未満	3	76	171.0
12	森岡保育園	1971	34.6		5		5		5		5		5	100	169.2
13	森岡西保育園	1975	38.8		5		5		5		5		5	100	177.5
20	森岡児童館	1997	66.3		5		5		5		5		5	100	232.5
30	森岡コミュニティセンター	1980	45.0		5		5	○ 可能性が極 めて高い	1		5		5	84	174.0
40	森岡老人憩の家	1987	26.0		5		5		5		5		5	100	152.0
53	北部ふれあいセンター	1994	40.0		5		5		5		5		5	100	180.0
58	森岡小学校	1963	39.0		5		5		5		5		5	100	178.0
3	緒川分団詰所	1978	42.5		5	○ 1m以上3m 未満	1	○ 可能性が高 い	2		5	○ 2m以上5m 未満	1	56	141.0
8	北部防災倉庫	1987	55.0		5	○ 0.5m以上 1m未満	2		5		5	○ 2m以上5m 未満	1	72	182.0
10	役場東防災倉庫	2018	92.5		5		5		5		5		5	100	285.0
14	緒川保育園	1975	38.8		5		5		5		5		5	100	177.5
21	緒川児童館	1996	49.7		5	○ 0.3m以上 0.5m未満	3		5		5	○ 1m以上2m 未満	2	80	179.4
31	緒川コミュニティセンター	1977	45.9		5	○ 0.5m以上 1m未満	2	○ 可能性が高 い	2		5	○ 2m以上5m 未満	1	60	151.7
41	緒川老人憩の家	1980	12.0		5		5		5		5	○ 1m以上2m 未満	2	88	112.0
43	相生老人憩の家	1983	18.0		5		5		5		5		5	100	136.0
59	緒川小学校	1978	46.4		5		5		5		5		5	100	192.9
66	北部中学校	1976	41.5		5		5		5		5		5	100	183.1

施設別 No.	施設名	④建物健全度											安全性 100点満点	健全度 目標耐用年 数残存率 (300点)	
		建築年度	残目標耐用年数率 (重付係数×2) (200点満点)	安全性(100点)											
				津波		洪水		液状化		土砂災害		高潮			
津波	点数	洪水	点数	液状化	点数	土砂 災害	点数	高潮	点数						
4	緒川新田分団詰所	1986	53.8		5		5		5		5		5	100	207.5
9	西部防災倉庫	2017	91.3		5		5		5		5		5	100	282.5
15	緒川新田保育園	1992	60.0		5		5		5		5		5	100	220.0
22	緒川新田児童館	1973	36.3		5		5		5		5		5	100	172.5
32	卯ノ里コミュニティセンター	1981	46.3		5		5		5		5		5	100	192.5
42	緒川新田老人憩の家	1973	36.3		5		5		5		5		5	100	172.5
47	東ヶ丘交流館	2006	64.0		5		5		5		5		5	100	228.0
54	西部ふれあいセンター	1993	61.3		5		5		5		5		5	100	222.5
60	卯ノ里小学校	1979	48.9		5		5		5		5		5	100	197.8
67	西部中学校	1987	56.1		5		5		5		5		5	100	212.2
5	石浜分団詰所	1979	45.0		5		5	○可能性が高い	2		5	○2m以上5m未済	1	72	162.0
16	石浜保育園	1978	42.5		5		5		5		5		5	100	185.0
17	石浜西保育園	1974	37.5		5		5		5		5		5	100	175.0
23	石浜児童館	1993	41.1		5		5		5		5		5	100	182.1
24	石浜西児童館	2011	83.8		5		5		5	○土砂災害警戒区域(建築物当なし)	1		5	84	251.5
33	石浜コミュニティセンター	1975	38.8		5		5		5		5		5	100	177.5
44	石浜老人憩の家	1972	35.0		5		5		5		5		5	100	170.0
61	片薮小学校	1971	40.7		5		5		5		5		5	100	181.4
62	石浜西小学校	1981	47.5		5		5		5		5		5	100	195.0
65	東浦中学校	1960	40.4		5	○1m以上3m未済	1	○可能性が極めて低い	4		5	○1m以上2m未済	2	68	148.7
6	生路分団詰所	1980	46.3		5		5		5		5	○1m以上2m未済	2	88	180.5
18	生路保育園	1991	58.8		5		5		5		5		5	100	217.5
25	生路児童館	2000	70.0		5		5		5		5		5	100	240.0
34	生路コミュニティセンター	1971	33.8		5		5		5		5		5	100	167.5
45	生路老人憩の家	1982	16.0		5		5		5		5		5	100	132.0
63	生路小学校	1975	55.4		5		5		5	○土砂災害警戒区域(建築物当なし)	1		5	84	194.9
7	藤江分団詰所	1974	38.8		5	○0.3m以上0.5m未済	3	○可能性が極めて低い	4		5	○0.01m以上0.3m未済	4	84	161.5
19	藤江保育園	1974	37.5		5		5		5		5		5	100	175.0
26	藤江児童館	2001	71.8		5		5		5		5		5	100	243.5
35	藤江公民館	1968	30.0		5		5	○可能性が極めて低い	4		5	○0.3m以上1m未済	3	88	148.0
46	藤江老人憩の家	1997	66.3		5		5		5		5		5	100	232.5
55	藤江コミュニティセンター	1988	28.0		5		5		5	○土砂災害警戒区域(建築物当なし)	1		5	84	140.0
64	藤江小学校	1972	48.6		5		5		5	○山腹崩壊危険地区	3		5	92	189.3
69	半田消防署東浦支署	1981	47.5		5	○0.5m以上1m未済	2	○可能性が極めて低い	4		5	○2m以上5m未済	1	68	163.0
70	半田消防署東浦西部出張所	2017	92.5		5		5		5		5		5	100	285.0

第5節 公共施設評価まとめ

前述の①施設規模の方向性、②提供主体可能性、③立地の方向性、④建物健全度の各評価結果を以下のとおり取りまとめます。

【評価のまとめ】

施設別 No.	施設名	基礎情報		①施設規模 の方向性	②提供主体可能性				③立地の 方向性	④建物 健全度
		建築年	延床面積 (㎡)		代替施設	民間提供	広域連携	地元移譲		
1	役場	1968	5,662.82	規模維持	-	-	△	-	現位置可	192.4
11	総合ボランティアセンター	1987	146.40	規模維持	△	-	△	-	移転検討	182.0
27	子育て支援センター	2011	1,204.07	規模維持	○	△	△	△	移転検討	251.5
28	なかよし学園	1971	323.54	規模維持	-	△	-	-	現位置可	241.2
29	文化センター	1977	1,993.50	規模維持	○	○	○	-	移転検討	146.5
36	郷土資料館	1999	999.72	規模維持	○	○	○	-	移転検討	224.0
37	中央図書館	1991	2,634.73	規模維持	△	○	○	-	移転検討	201.5
38	福祉センター ※学習・交流	1993	1,186.98	規模維持	-	-	△	-	移転検討	186.5
38	福祉センター ※福祉	1993	1,186.98	規模維持	-	-	△	-	移転検討	186.5
39	旧ひだまり	1987	114.28						移転検討	182.0
48	高齢者相談支援センター	1979	115.20	規模維持	-	-	△	-	移転検討	155.5
49	保健センター	1977	1,040.31	規模維持	○	-	-	-	移転検討	162.9
50	勤労福祉会館 ※学習・交流	1979	2,579.29	規模維持	△	○	○	-	移転検討	155.5
50	勤労福祉会館 ※行政	1979	2,579.29	規模維持	△	○	○	-	移転検討	155.5
51	東浦文化広場 (体育館)	1983	2,871.99	規模維持	○	○	○	-	移転検討	181.5
52	東浦文化広場 (はなのき会館)	1983	453.03	規模縮小	○	○	○	-	移転検討	181.5
56	町営藤江住宅	2001	167.84	規模縮小	○	○	-	○	移転検討	212.0
57	町営半ノ木住宅	2004	840.03	規模縮小	○	○	-	○	移転検討	226.6
68	学校給食センター	2014	3,475.21	規模維持	△	○	-	-	現位置可	275.0
2	森岡分団詰所	1981	99.94	規模維持	○	-	-	-	移転検討	171.0
12	森岡保育園	1971	617.49	規模維持	○	○	-	-	移転検討	169.2
13	森岡西保育園	1975	1,337.30	規模縮小	○	○	-	-	現位置可	177.5
20	森岡児童館	1997	329.02	規模維持	○	△	△	△	現位置可	232.5
30	森岡コミュニティセンター	1980	788.07	規模維持	○	○	○	○	移転検討	174.0
40	森岡老人憩の家	1987	171.69	規模縮小	○	△	△	△	現位置可	152.0
53	北部ふれあい センター ※学習・交流	1994	721.38	規模縮小	○	△	△	△	現位置可	180.0
53	北部ふれあい センター ※運動	1994	721.38	規模維持	○	△	△	△	現位置可	180.0
58	森岡小学校	1963	6,837.00	規模縮小	-	-	-	-	現位置可	178.0
3	緒川分団詰所	1978	117.69	規模維持	○	-	-	-	移転検討	141.0
8	北部防災倉庫	1987	269.78	規模維持	○	-	-	-	移転検討	182.0
10	役場東防災倉庫	2018	184.69	規模維持	○	-	-	-	現位置可	285.0
14	緒川保育園	1975	1,790.07	規模維持	○	△	-	-	移転検討	177.5
21	緒川児童館	1996	618.33	規模維持	○	△	△	△	移転検討	179.4
31	緒川コミュニティセンター	1977	933.54	規模維持	○	○	○	○	移転検討	151.7
41	緒川老人憩の家	1980	274.59	規模縮小	○	△	△	△	移転検討	112.0
43	相生老人憩の家	1983	134.37	規模縮小	○	△	△	△	移転検討	136.0
59	緒川小学校	1978	8,860.00	規模縮小	-	-	-	-	移転検討	192.9
66	北部中学校	1976	11,982.00	規模縮小	-	-	-	-	移転検討	183.1

施設別 No.	施設名	基礎情報		①施設規模 の方向性	②提供主体可能性				③立地の 方向性	④建物 健全度
		建築年	延床面積 (㎡)		代替施設	民間提供	広域連携	地元移譲		
4	緒川新田分団詰所	1986	101.93	規模維持	○	-	-	-	現位置可	207.5
9	西部防災倉庫	2017	268.74	規模維持	○	-	-	-	移転検討	282.5
15	緒川新田保育園	1992	1,266.10	規模維持	○	△	-	-	移転検討	220.0
22	緒川新田児童館	1973	458.68	規模維持	○	△	△	△	現位置可	172.5
32	卯ノ里コミュニティセンター	1981	740.40	規模維持	○	○	○	○	移転検討	192.5
42	緒川新田老人憩の家	1973	358.22	規模縮小	○	△	△	△	現位置可	172.5
47	東ヶ丘交流館	2006	136.64	規模縮小	○	△	△	△	現位置可	228.0
54	西部ふれあい センター ※学習・交流	1993	713.03	規模縮小	○	△	△	△	現位置可	222.5
54	西部ふれあい センター ※運動	1993	713.03	規模維持	○	△	△	△	現位置可	222.5
60	卯ノ里小学校	1979	9,275.00	規模縮小	-	-	-	-	移転検討	197.8
67	西部中学校	1987	8,476.00	規模縮小	-	-	-	-	現位置可	212.2
5	石浜分団詰所	1979	103.24	規模維持	○	-	-	-	移転検討	162.0
16	石浜保育園	1978	1,768.49	規模維持	○	△	-	-	現位置可	185.0
17	石浜西保育園	1974	1,770.36	規模縮小	○	△	-	-	移転検討	175.0
23	石浜児童館	1993	544.70	規模維持	○	△	△	△	現位置可	182.1
24	石浜西児童館	2011	345.00	規模維持	○	△	△	△	移転検討	251.5
33	石浜コミュニティセンター	1975	535.91	規模維持	○	○	○	○	移転検討	177.5
44	石浜老人憩の家	1972	588.74	規模縮小	○	△	△	△	現位置可	170.0
61	片葩小学校	1971	8,117.00	規模縮小	○	-	-	-	現位置可	181.4
62	石浜西小学校	1981	5,931.00	規模縮小	○	-	-	-	移転検討	195.0
65	東浦中学校	1960	12,529.00	規模縮小	-	-	-	-	移転検討	148.7
6	生路分団詰所	1980	99.22	規模維持	○	-	-	-	移転検討	180.5
18	生路保育園	1991	1,001.73	規模維持	○	△	-	-	現位置可	217.5
25	生路児童館	2000	442.41	規模維持	○	△	△	△	現位置可	240.0
34	生路コミュニティセンター	1971	510.00	規模維持	○	○	○	○	現位置可	167.5
45	生路老人憩の家	1982	141.75	規模縮小	○	△	△	△	現位置可	132.0
63	生路小学校	1975	5,708.00	規模縮小	-	-	-	-	移転検討	194.9
7	藤江分団詰所	1974	77.64	規模維持	○	-	-	-	移転検討	161.5
19	藤江保育園	1974	1,398.99	規模維持	○	△	-	-	移転検討	175.0
26	藤江児童館	2001	425.75	規模維持	○	△	△	△	移転検討	243.5
35	藤江公民館	1968	392.40	規模縮小	○	○	○	○	移転検討	148.0
46	藤江老人憩の家	1997	180.85	規模縮小	○	△	△	△	移転検討	232.5
55	藤江コミュニティ センター ※学習・交流	1988	798.83	規模維持	○	△	△	△	移転検討	140.0
55	藤江コミュニティ センター ※運動	1988	798.83	規模維持	○	△	△	△	移転検討	140.0
64	藤江小学校	1972	6,346.50	規模縮小	-	-	-	-	移転検討	189.3
69	半田消防署東浦支署	1981	751.20	規模維持	△	-	-	-	移転検討	163.0
70	半田消防署東浦西部出張所	2017	916.79	規模維持	△	-	-	-	移転検討	285.0